

別冊—1 (道路都市計画実施調査基盤整備にかかる調査研究報告)

- 海外における開発調査事業に使用した
地形図に関する実態調査・調査票集録

昭和61年2月

国際協力事業団

開一
CR
86-34

国際協力事業団		
受入 月日	'87. 5. 25	000
登録 No.	16474	61
		SDF

JICA LIBRARY



1033818E4J

目 次

別冊一―(F/S) 海外における開発調査事業に使用した地形図に関する実態調査 (F/S)	3
小 目 次	7
調 査 票	11
別冊一―(M/P) 海外における開発調査事業に使用した地形図に関する実態調査 (M/P)	137
小 目 次	141
調 査 票	143
別冊一―調査票 実態調査に用いた調査票	223

別冊—1—(F/S)

海外における開発調査事業に使用した地形図に関する実態調査

調査票集録 (F/S)

予

この調査票集録は、国際協力事業団が昭和59年度以前約5ケ年の間に発注された開発調査案件のなかから、つとめて各分野の調査対象数が均一になるように、建設コンサルタント42社(案件数189件)を選びアンケートし、回収した調査票のうちF/S関係についての集録である。

また、この調査票集録は発注された案件名により、次のとおり分類整理されている。

水資源、交通運輸、都市開発

小 目 次

ページ	分 類	調査票 No	プ ロ ジ ェ ク ト 名	
〔水 資 源〕				
11	ダム, かんがい, 発電	39	フィリピン	マビニ地区農業開発実施調査
12	かんがい	40	ニジェール	クランパリアかんがい農業開発
13	ダム, かんがい, 河川	42	マレーシア	PKP域水資源開発計画
14	ダム, かんがい, 発電	43	マレーシア	キナバタンガン河流域開発計画
15	河 川	46	インドネシア	ジュネベラン河下流域開発計画
16	洪水防御	48	グアテマラ	治水計画調査
17	ダム, かんがい, 発電, 河川	50	マレーシア	キナバタンガン河流域開発計画
18	かんがい	51	インドネシア	北バンテン水資源開発計画
19	ダム, 発電	52	フィリピン	リオチバ鉱山関連施設整備計画
20	かんがい, 道路, 橋梁	54	ペ ル ー	チャンカイ・ワラル谷かんがい復旧計画実施調査
21	ダム, かんがい, 発電, 河川	55	フィリピン	マツノ河開発計画実施調査
22	ダム, かんがい, 発電	56	フィリピン	アスエ農業総合開発計画
23	かんがい, 河川	58	フィリピン	パンパンガデルタ開発計画
24	ダム, かんがい, 河川	59	タ イ	タイ東部水資源開発計画 (フェーズII)
25	河 川	61	インドネシア	パダーン治水計画調査
26	ダム, かんがい, 河川	64	インドネシア	ピラかんがい開発計画
27	ダム, かんがい, 河川	65	フィリピン	マツノ河開発計画実施調査
28	農業開発	66	アルジェリア	フェツアラ湖周辺地域農業開発計画実施調査
29	かんがい	67	インドネシア	北バンテン水資源開発計画
30	かんがい, 河川	68	コロンビア	パンプロニータ川流域農業開発計画
31	かんがい	69	タ イ	ケンコイ・バンモボンかんがい計画
32	農業開発	70	エジプト	北部ホサイニア及びポートサイド南部農業開発計画実施調査
33	かんがい	71	ジャマイカ	ブラックリバーローアモラス農業開発
34	かんがい	72	マレーシア	トレンガヌ沼沢地農業開発計画実施調査
36	かんがい	73	タ イ	メチャンかんがい農業開発計画実施調査
38	ダム, かんがい	74	アラブ首長国	水資源開発計画
39	ダム, かんがい	75	タ イ	東部水資源開発調査
40	かんがい	78	エジプト	南部ホサイニアバレイ農業開発計画
41	ダム, かんがい, 発電	79	フィリピン	アスエ農業総合開発
42	かんがい	80	タ イ	ベチャブリかんがい農業開発計画実施調査
43	かんがい	81	オ ー マ ン	ワジンジ農業開発実施調査
44	かんがい	82	エジプト	北部ホサイニア及びポートサイド南部農業開発計画実施調査
45	ダム, かんがい, 河川	84	アルジェリア	フェツアラ湖周辺地域計画実施調査
46	河川砂防	88	インドネシア	スメル火山砂防水資源保全計画調査
47	ダム, かんがい, 発電, 河川	102	マレーシア	PKP地域水資源開発計画
48	かんがい, 河川	104	フィリピン	パンパンガデルタ開発計画
49	ダム, かんがい	105	フィリピン	サンロケ多目的ダム開発計画調査
50	かんがい	118	マ リ	パキンダ地区農業開発及び地形図作成調査
51	かんがい	119	ギ ニ ア	カンカン地区農業開発
52	かんがい	120	タンザニア	ムコマジバレイ農業用水開発計画
53	農業開発	121	ジャマイカ	ブラックリバーローアモラス農業開発計画
54	かんがい	123	エクアドル	コスタ地区農業開発計画
55	かんがい	141	ドミニカ	アグリボ地区農業開発計画

ページ	分類	調査票 No	プロジェクト名	
56	かんがい	142	ホンジュラス	アグアン川流域農業開発計画実施調査
57	農業開発	143	シェラレオーネ	ロンベ沼沢地農業開発
58	ダム, かんがい	150	タンザニア	ムコマジバレイ農業用水開発計画
59	農業開発	151	パラグアイ	イボア湖北西部農業開発実施
60	かんがい	152	ニジェール	クラニバリアかんがい農業開発計画
61	かんがい	153	エジプト	北部ホサイニア及びポートサイド南部農業開発計画
62	かんがい	154	ベルー	チャンカイ, ワラル谷かんがい復旧計画実施調査
63	多目的ダム	160	フィリピン	サンロケ多目的ダム開発計画
64	かんがい	166	エクアドル	コスタ地区農業開発計画
65	かんがい, 発電	175	インドネシア	コメリン川上流農業開発計画
67	かんがい	182	シェラレオーネ	ロンベ沼沢地農業開発
68	かんがい	183	ジャマイカ	ブラックリバーローアモラス農業開発
69	ダム, かんがい	187	フィリピン	グマイン川かんがい開発計画
〔交通運輸〕				
70	道路	2	マレーシア	ジョージタウンパタワース道路計画調査
71	道路	4	モーシャリス	リンクロード建設計画
72	道路	5	フィリピン	マニラ首都圏北部地幹線道路計画
73	道路(防災)	6	フィリピン	道路防災計画調査(ステージI)
74	道路(トンネル)	10	フィリピン	ダルトンパス・トンネル調査
75	道路(防災)	12	フィリピン	道路防災計画
76	道路	13	マレーシア	ジョホールバル道路交通計画調査
77	道路	15	〃	〃
78	道路	16	コロンビア	ベネベンツラ〜ボコダ間道路計画
79	道路	21	〃	〃
80	道路	22	マレーシア	サラワク州, タタウ〜カピト幹線道路計画
81	道路	23	マダガスカル	国道5号線改良計画(フェネリブーヌロマンツェトラ)
82	道路(橋梁)	34	モーシャリス	リンクロード建設計画
83	道路	89	パナマ	首都圏都市交通整備計画
84	道路, 橋梁	95	ケニア	キリフィ橋建設計画
85	道路	96	マレーシア	ジョージタウン・パタワース道路計画調査
86	橋梁	110	バングラデッシュ	メクナ・メグナムティ橋建設計画調査
87	道路	111	タイ	北部地方道路網整備
88	道路	112	タイ	ノンブア〜バングラムチボン道路計画
89	道路, 橋梁	114	シェラレオーネ	シェラレオーネ道路計画
90	道路	115	リベリア	バンガ・メディコンマ道路計画
91	空港	122	モロッコ	ナドール新空港建設計画調査
92	道路	128	インドネシア	地方道整備計画
93	空港	130	インドネシア	パダン空港整備計画
94	空港	131	インドネシア	バリ国際空港整備拡充計画
95	空港	132	エジプト	アレキサンドリア新国際空港建設計画
96	道路, 橋梁	133	ケニア	リコニ, クロッシング建設計画
97	橋梁	134	バングラデッシュ	メグナグムティ橋建設計画調査
98	道路	135	インドネシア	ジャカルタ湾岸道路計画調査
99	道路	136	ヨルダン	イルビット市環状道路建設計画

ページ	分 類	調査票 No	プ ロ ジ ェ ク ト 名	
100	道 路	137	フィリピン	マニラ首都圏南部地区幹線道路網計画調査
101	道 路	138	フィリピン	マニラ, バターン道路及びc-5, c-6道路建設
102	道 路	139	タ イ	バンコック高速道路建設計画
103	道 路	145	マレーシア	タタウ〜カピト幹線道路計画調査
104	道 路	146	マレーシア	サラワク幹線道路建設計画調査
105	鉄道復旧	147	ボ リ ビ ア	ボリビア共和国鉄道復旧計画調査
106	道路, 橋梁	163	タ イ	チャオピア河架橋(タイ国ラマVI世橋建設計画調査)
107	道路, 橋梁	164	スリランカ	コロambo周辺道路整備計画
108	道路整備	165	インドネシア	地方道路整備計画
109	鉄道	170	インドネシア	メダン都市交通計画調査
110	道路(公共交通路線計画)	171	フィリピン	マニラ首都圏都市交通計画
111	鉄 道	184	インドネシア	ジャカルタ大都市圏鉄道輸送計画調査
112	鉄 道	185	マレーシア	鉄道整備計画調査
113	鉄 道	186	ボ リ ビ ア	鉄道復旧計画
114	港 湾	188	フィリピン	港湾開発整備計画
115	港 湾	189	メ キ シ コ	港湾整備計画
(都 市 開 発)				
116	都市排水, 下水	26	マレーシア	クラン地域下水排水計画調査
117	上水道改良	27	タンザニア	ダレサラーム上水道整備計画基本計画
118	上水道整備	28	エジプト	シアルキア上水道整備計画調査
119	下水道整備	29	タ イ	バンコック市下水道整備計画
120	上水道整備	30	フィリピン	地方都市水道整備計画
121	水道整備	31	インドネシア	ジャカルタ市水道整備計画
122	上水道	32	ケ ニ ア	モンバサ地区給水増強計画
123	水道整備	33	スリランカ	地方上水道整備計画
124	導水パイプライン	63	タ イ	ノンコ〜ラムチャバン間送水パイプライン建設
125	給水	77	ジンバブエ	村落給水計画調査
126	臨海部開発	93	タ イ	ラムチャバン臨海部開発計画
127	雨水排水	97	マレーシア	クラン地域下水排水計画
128	臨海部開発	100	タ イ	ラムチャバン臨海部開発計画
129	給水増強	116	ケ ニ ア	モンバサ地区給水増強計画
130	都市排水	124	マレーシア	トレンガヌ南部地域総合開発計画
131	都市再開発	126	インドネシア	ジャカルタ住宅市街地再開発計画調査
132	水 道	140	北イエメン	地方水道計画調査(パートII)
133	飲料水及び牧畜用水開発	168	マ リ	地下水開発計画
134	地下水開発	169	マ リ	地下水開発計画
135	地域開発	176	フィリピン	マツノ川開発計画実施調査
136	地域開発	177	フィリピン	アスエ農業総合開発計画

分野 (大分類)		開発計画 (中分類)		地域開発 (小分類)		空中写真 (使用成果)		地図	
区	分	(A) 計画地域の選定	(B) ダムサイトの選定	(C) 設計	(D) 計	(E)	(F)	摘要	
使用希望標準	縮尺 等高線	1/50,000 10 m	1/40,000 1 m	1/50,000 1/5,000	10 m 1 m				
作成機関	入手先	相手国測量機関	相手国その他の政府機関	相手国測量機関	左				
作成目的	目的	汎用図	当該案件	汎用図	左				
重要な表示事項	事項	地形, 河川, その他	地形, 河川, 種々の目的物	地形, 河川, その他					
重要な精度	精度	等高線	同 左	同 左					
調査対象範囲(面・線)	範囲	200 Km ²	225 Km ²	200 Km ²				① 面的 ② 面的	
使用地図カバ-範囲	範囲	1,000 Km ²	400 Km ²	1,000 Km ²					
ほしかった範囲	範囲	1,000 Km ²	400 Km ²	300 Km ²					
標準範囲	範囲	1,000 Km ²	400 Km ²	300 Km ²					
地域特性	特性	(B.L.) N 16°10' E 120°00'	(植生) 耕地	(地形) 平坦	(人文) 集落点散	(地域等) マビニ地区			
土地利用図	利用図	利用しなかった	(範囲縮尺)	(基図コンター)	(分類)				
参考事項	事項			縮図が十分でなかった理由 ...構造物の設置位置の判断が明確でなくなる。 等高線が十分でなかった理由 ...盛土水路の盛土量等が大雑把となった。					

分野 (大分類) 建設 (中分類) 水		地域開発 築		空中写真 (使用成果)		地図					
区 分		(A) 計画地域の選定		(B) 設 計		(C) 土地利用の区分		(D) 社会インフラ計画		(E) 摘 要	
使用	1 / 50,000	20 m	1 / 2,000	20 m	1 / 50,000	20 m	1 / 500,000				
希望縮尺											
標準											
作成機関	第三国機関	相手国測量機	第三国機関	JICA	第三国機関	相手国測量機	第三国機関	相手国測量機			
入 手 先											
作 成 目 的	汎 用 図		第三国コンサルタントが作成		当該案件		当該案件				
重要な表示事項	地形、河川、集落		地形、河川、種々の目標物		地形、河川、集落		河川、道路、集落				
重要な精度	河 川		等高線		地 形		道 路				
調査対象範囲(面・線)	13.8 km ²		13.8 km ²		13.8 km ²		115 × 20				① 面的 13.8 km ²
使用地区カバ-範囲	756 km ²		15 km ²		756 km ²		115 × 110				② 線 115 km × 20 km
ほしかった範囲	20 km ²		15 km ²		13.8 km ²		115 × 110				
標準範囲	20 km ²		15 km ²		20 km ²		115 × 110				
地域特性	(B.L) N14°2'E 1°30'		(植生) 河川敷		(地形) 平坦地		(人文) 集落点散				(地域等) クラニ、バリア地区
土地利用図	作成		(基図縮尺) 1 / 50,000		(基図コンタ-) 20 m		(分類) 植生 (2)				
参 考 事 項											※ ニジュームル洪水を利用した淨水による農業が主であり、安定した水の供給が課題。 河川敷はほぼ平坦であるが若干の起伏があり、高地部は洪水の時に冠水しないので集落が存在する。

(FS) (案件) 国名記入 マレーシア……PKP 域水資源開発計画

分野 (大分類)		開発計画 (中分類)		地域開発 (小分類)		空中写真 (使用成果)		地図 (図)	
区分	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	摘要
使用希望標準	1 / 10,000	5 m							
作成機関	入	手	先						
作成目的									
重要な表示事項									
重要な精度									
調査対象範囲(面・線)									
使用地図カバー範囲									
ほしかった範囲									
標準範囲									
地域特性	(B.I.)	(植生) 未耕地, 耕地, 樹林	(地形) 丘 陵	(人文) 集落, 散地, 地蔵	(地殻等)				
土地利用図	利用しなかった, 既存利用作成	(基図縮尺)	(基図コンター)	(分類)					
参考事項									

分野 (大分類) 建設 (中分類) 水質源 (小分類) ダム, かんがい, 発電 (使用成果) (空中写真, 地図, 図)

区分		(A) 施設	計	(B) 適地	速定	(C)	(D)	(E)	摘要
使用		1 / 10,000	5 m	1 / 50,000	10 m				
希望	縮尺		1 m	1 / 10,000	1 m				
標準	等高線								
作成機関	入手先	相手国測量機関	同	相手国測量機関	同	左			
作成目的		同上		汎用	左				
重要な表示事項		地形, 植生, 河川							
重要な精度		河川							
調査対象範囲(面・線)		1,500 Km ²	10 × 150	1,500 Km ²	20 × 750				① 面の 1,500 Km ²
使用地図カバ一範囲		50 Km ²	2 × 25	1,500 Km ²	20 × 750				② 面の 1,500 Km ²
ほしかった距離		500 Km ²	10 × 50	1,500 Km ²	20 × 750				
標準範囲		1,000 Km ²	10 × 100						
地域特性		(B.L.)		(植生) 樹林			(地形) 平坦	(人文) 集落点散	(地域等)
土地利用図		既存利用		(基図縮尺) 1 / 50,000			(基図コンター) 10 m	(分類) 植生 (5)	
参考事項									

分野 (大分類) 建設 (中分類) 水資源 (小分類) 河川		(使用成果) 空中写真 (地)		(使用成果) 空中写真 (地)		(使用成果) 空中写真 (地)	
区分	(A) 適地選定	(B) ルート選定, 設計及土地 (C) 利用判別	(D)	(E)	摘要		
使用希望標準	1/50,000 10 m	1/10,000 1.0 m					
作成機関	相手国測量機関	JICA					
作成目的	相手国が汎用目的で作成	JICAが当該案件に…					
重要な表示事項	地形, 河川, 種々の自然物	同					
重要な精変	河川	等高線					
調査対象範囲(面・線)	730 Km ²	330 Km ²			① 面的 730 Km ²		
使用地図カバ一範圍	"	150 Km ²			② 面的 1,100 Km ²		
ほしかった範圍	"	"					
標準範圍							
地域特性	(B.L) S 5° 5' ~ 5° 20' / E 119° 22' ~ 119° 22'	(植生) 耕地	(地形) 平地	(人文) 集落密集地域	(地域等) 南スラウエシ州 ウジョコンパンダン		
土地利用図	既存利用	(基図縮尺) 1/50,000	(基図コンター) 約10 m	(分類) 地形			
参考事項	1/125,000 既存地図を併用 330 - 150 = 180 Km ² 写真撮影による。 ※全体計画(水資源)ダム, 発電等を考慮した治水計画の策定(1/50,000 全城カバ一) 緊急対策として犯乱に対する河川改修計画(1/10,000 を使用)						

分野 (大分類) 建設 (中分類) その他 (小分類) 洪水防衛計画 (使用成果) (空中写真) (地図) (図)

区分		(A) 設計	(B) 適地選定	(C) 土地利用判別	(D)	(E)	摘要
使用	1 / 10,000	5 m	1 / 50,000	1 / 50,000			
希望	縮尺	1 m	1 / 10,000				
標準	等高線						
作成機関	入手先	相手国測量機関	同	同	左		
作成目的	当該条件	同	同	汎用図	汎用図		
重要な表示事項	地形, 河川, 道路	同	同	地形, 植生, 河川	河川		
重要な精度	河川	同	同	同	同		
調査対象範囲(面・線)	500 Km ²	50 × 10	1,500 Km ²	1,500 Km ²	150 × 10		① 面的 1,300 Km ² ② 面的 10万Km ²
使用地図カバ-範囲	100 Km ²	20 × 5	1,500 Km ²	1,500 Km ²	150 × 10		
ほしかった範囲	200 Km ²	20 × 10	1,500 Km ²	1,500 Km ²	150 × 10		
標準範囲	500 Km ²	50 × 10	1,500 Km ²	1,500 Km ²	150 × 10		
地域特性	(B.I.)	(植生) 耕	(植生) 耕	(地形) 平坦, 急峻	(人文) 集落点散	(地域等) アテグアテ川, パ レタオン川流域	
土地利用図	既存利用	(基図縮尺) 1 / 50,000	(基図縮尺) 1 / 50,000	(基図コンター) 10 m	(分類) 人文的		
参考事項	必要な河川のある箇所等について の工事設計	重要な守るべき都市橋梁等は どれか? そのためには、どの河川のど の部分に注自して改修等を行 うかを判定する。	河川をい、地形、土地利用 現況調査を行う。 →全国レベルで適地選定の必 要があった。				

(FS) (案件) 園名記入 マレーシア.....キナバタンガン河流域開発計画

分野 (大分類) 建設 (中分類) 水資源 (小分類) ダム, かんがい, 発電, 河川 (使用成果) 空中写真, 地図		開発計画 (中分類) 地域開発 発源		区 分		(A) 適地選定	(B) 土地利用判別	(C) ルート選定	(D)	(E)	摘要
使用	1 / 50,000	15 m	1 / 250,000	1 / 50,000	15 m						
希望	1 / 25,000	5 m	1 / 50,000	1 / 10,000	5 m						
標準	1 / 10,000	1 m	1 / 10,000	1 / 5,000	1 m						
作成機関	相手国測量機関	同	同	相手国その他の政府機関	同	同	同	同	同		
作成目的	汎用図	同	同	同	同	同	同	同	同		
重要な表示事項	地形, 植生, 河川	同	同	同	同	同	同	同	同		
重要な精度	河川	同	同	同	同	同	同	同	同		
調査対象範囲(面・線)	1,500 Km ²		1,500 Km ²	1,500 Km ²	1,500 Km ²	1,500 Km ²	1,500 Km ²	500 Km ²			① 面的 1,000 Km ² ② 面的 1,500 Km ²
使用地図カバ一範囲	1,500 Km ²		1,500 Km ²	1,500 Km ²	1,500 Km ²	1,500 Km ²	1,500 Km ²	500 Km ²			
ほしかった範囲	1,500 Km ²		1,500 Km ²	1,500 Km ²	1,500 Km ²	1,500 Km ²	1,500 Km ²	500 Km ²			
標準範囲	1,500 Km ²		1,500 Km ²	1,500 Km ²	1,500 Km ²	1,500 Km ²	1,500 Km ²	500 Km ²			
地域特性	(B.L.) S 2°~3° E 116°~117°		(植生) 混地	(地形) 平坦地, 丘陵	(人文) 集落点散	(地形) 平坦地, 丘陵	(植生) 混地	(人文) 集落点散	(人文) 集落点散	(地域等)	
土地利用図	既存利用		(基図縮尺) 1 / 250,000	(基図コンター) ナン	(分類) 人文, 植生, 地形 (多数)						
参考事項											ブレ, フィービリティレベル, プレF/Sのため, 開発面積の規模検討に広域調査を要した。

(F.S) (案件) 国名記入 インドネシア……北パパンテン水資源開発計画

分野 (大分類) 建設 (中分類) 水資源		地域関 発 源		(小分類) かんがい		(使用成果) 空中写真, 地形	
区分	(A) ルート選定	(B) 適地選定	(C) 設計	(D) 土地利用判別	(E) 土量計算	摘要	
使用	1 / 5,000	1 / 50,000	1 / 10,000	1 / 50,000	1 / 10,000	5 m	
希望縮尺	1 / 5,000	1 / 5,000	1 / 5,000	1 / 5,000	1 / 5,000	1 m	
標準	1 / 5,000	1 / 5,000	1 / 5,000	1 / 5,000	1 / 5,000	1 m	
作成機関	相手国測量機関	同	同	同	同		
作成目的	相手国のその他の政府機関	同	同	同	同		
重要な表示事項	地形, 植生, 河川	同	同	同	同		
重要な精度	水準点などの標高	同	同	同	同		
調査対象範囲(面・線)	200 Km ²	200 Km ²	50 Km ²	200 Km ²	50 Km ²		① 面的 100 Km ² 線状 40 Km × 0.5 Km
使用地図カバ一範囲	200 Km ²	200 Km ²	100 Km ²	200 Km ²	100 Km ²	10 × 5	② 面的 200 Km ² 線状 100 Km × 1 Km
ほしかった範囲	200 Km ²	200 Km ²	100 Km ²	200 Km ²	100 Km ²	10 × 10	
標準範囲	300 Km ²	300 Km ²	200 Km ²	300 Km ²	200 Km ²	15 × 15	
地域特性	(B.L.)	(植生) 草原	(地形) 丘陵	(人文) 集落点散地域	(地域等) ジャカルタ西方		
土地利用図	既存利用	(基図縮尺) 1 / 50,000	(基図コンター) 5 m	(分類) 地形			
参考事項							

分野 (大分類) 建設 (中分類) 水資源 (小分類) ダム, 発電 (使用成果) 空中写真, 地図 (水力発電計画(導水管施設を含む))

区分		(A) 適地, ルート選定	(B) 設計	(C) 計	(D)	(E)	摘要
使用	希望縮尺等	1/50,000	1/500				
標準		1/10,000	5m				
作成機関	入手先	相手国測量機関	同	左			
作成目的		相手国が汎用目的で作成	自社	その他の政府機関			
重要な表示事項		地形, 植生, 河川	地形, 河川				
重要な精度		河川	河川				
調査対象範囲(面・線)		300 Km ²	80 Km × 1 Km	15 Km × 0.5 Km			① 線状 80 Km × 1 Km ② 面的 300 Km ²
使用地図カバ一範囲		3,000 Km ²		2 Km × 0.5 Km			
ほしかった範囲			80 Km × 1 Km	15 Km × 0.5 Km			
標準範囲		100 Km ²	10 Km ²				
地域特性		(B.L.) N 8° 31' ~ 9° 00' / E 117° 20' ~ 50'	(植生)	(地形)	(人文)	(地域等)	
土地利用図		利用しなかった	(基図縮尺)	(基図コーナー)	(分類)		
参考事項		精度不足だった。F/Sでは、1/万地図での比較検討が必須である。	基図調査(概略計画)と本図調査(本計画)を分離し、地図は上記2調査の間に実施することが理想的				

(F.S) (案件) 国名記入 ヘルムン.....チャンカイ、ワラル谷かんがい復旧計画実施調査

分野 (大分類) 建設		出 発 計 画 設 計		地 域 開 発		空 中 写 真		地 図	
(中分類) 建		(中分類) 設		(中分類) 開		(中分類) 写		(中分類) 図	
水資源、交通		道路、橋梁		(使用成果)					
区 分	(A) 適 地 選 定	(B) ル ー ト 選 定	(C) 土 量 計 算	(D)	(E)	摘 要			
使用 希望 標準	1 / 30,000	1 / 10,000	1 / 10,000	5 m	5 m				
作成機関	相手国その他 政府機関	同	同	左	左				
作 成 目 的	当 該 案 件 用	同	同	左	左				
重 要 な 表 示 事 項	地形、河川、種々の目標物	同	同	左	左				
重 要 な 精 度	河 川	同	同	左	左				
調 査 対 象 範 疇 (面・線)	200 Km ²	200 Km ²	200 Km ²	30 × 25	30 × 25	① 面 積 200 Km ²			
使 用 地 図 カ バ ー 範 囲	900 Km ²	900 Km ²	900 Km ²	35 × 25	35 × 25	② 線 状 30 Km × 25 Km			
ほ しか っ た 範 囲	525 Km ²								
標 準 範 疇									
地 域 特 性	(B.I.)	(植生) 耕 地	(地形) 平 坦, 丘 陵	(人文) 集 落 点 散	(地域等)				
土 地 利 用 図	作 成	(基図縮尺) 1 / 10,000	(基図コンター) 5 m	(分類) 人 文 (耕地等) 植 生					
参 考 事 項									

分野 (大分類) 建設		開発計画		地域調査		流域調査		空中写真, 地図		摘要	
(中分類) 建設		(中分類) 建設		(中分類) 水資源		(小分類) ダム, かんがい, 発電, 河川		(使用成果)			
区	分	(A) 適地選定路線選定他	(B) 流域調査	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)
使用	縮尺	1 / 4,000	2 m	5 m							
希望	等高線										
標準											
作成機関	入手先	相手国その他の政府機関	同	相手国測量機関	第三国機関						
作成目的	目的	当該案件		汎用図							
重要な表示事項		地形, 植生, 道路		地形, 植生, 地名							
重要な精度		道路, 等高線		同	左						
調査対象範囲(面・線)		200 Km ²		300 Km ²							① 面的 130 Km ²
使用地図カバ―範囲		200 Km ²		300 Km ²							② 面的 250 Km ²
ほしかった範囲		220 Km ²		300 Km ²							
標準範囲		220 Km ²		300 Km ²							
地域特性		(B.L) N16°30' E121°		(植生) 耕	地	(地形) 平坦	(人文) 集落散点				(地域等) スモ、ビスカヤ州 ハヨンホン、ソラノ地区
土地利用	既存利用			(基図縮尺) 1 / 10,000		(基図コンター) 2 m	(分類) 植生				
参考事項											

(F.S) (案件) 国名記入 フィリピン……アスエ農業総合開発計画

分野 (大分類) 建設 (中分類) 水 産 養 殖		地 域 開 発		空 中 写 真 (地 図)		(使用成果)	
区 分	(A) 路線選定, 設計, 適地選定, 土地利用判別	(B) 流域調査左記Aの補足	(C)	(D)	(E)	摘 要	
使用 希望 標準	1 / 4,000	1 / 50,000					
作成機関	J I C A	相手国測量機関	第三國機関				
作成目的	J I C A	汎 用 図					
重要な表示事項	地形, 植生, 河川	地形, 地名, 河川					
重要な精度	道路, 等高線	目標物, 等高線					
調査対象範囲(面・線)	150 Km ²	200 Km ²					① 面的 90 Km ²
使用地図カバレッジ	130 Km ²	200 Km ²					② 面的 150 Km ²
ほしかった範囲	200 Km ²	200 Km ²					
標準範囲	200 Km ²	200 Km ²					
地域特性	(B.L. N11°10' ~ 11°18' / E 122°58' ~ 123°06')	(植生) 耕 地	(地形) 平 担	(人文) 集落点散	(地域等) パナイ島		
土地利用	既存利用	(基図縮尺) 1 / 50,000	(基図コンター) 5 m	(分類) 植生 (5)			
参考事項							Municipality - Sara, Sandionico Concepcion, A. Juy of Asue 川流域

(FS) (案件) 画名記入 フィリピン……バンパンガデルタ開発計画

分野 (大分類) 建設		開発計画		地域開発		水資源		(中分類) かんがい, 河川		(小分類) (使用成果) (空中写真), (地図), (図)		
区分	(A) ベース・マップ	(B) 土地利用判別	(C) 設計	(D) ルート選定	(E)	摘要						
使用	1/25,000	10 m	1/5,000	5 m	2/25,000	10 m						
希望縮尺		5 m		2 m								
標準												
作成機関	JICA	JICA	同	同	同	左						
作手先	JICA	JICA	同	同	同	左						
作成的	JICA	JICA	同	同	同	左						
重要な表示事項	地形, 河川, 種々の目標物											
重要な精度	河川, 水準点などの標高											
調査対象範囲(面・線)	3,200 Km ²			80 × 1.5	3,200 Km ²						① 面的 3,200 Km ²	
使用地区カバ-範囲	3,200 Km ²			40 × 1.5	3,200 Km ²						② 面的 11,000 Km ²	
ほしかった範囲	3,200 Km ²			40 × 1.5	3,200 Km ²							
標準範囲	3,200 Km ²			40 × 1.5	3,200 Km ²							
地域特性	(B.L) E 120°35' ~ 120°55' N 14°50' ~ 15°10'	(植生) 湿地, 耕地, その他 (魚地) 養魚地	(地形) 平坦	担	(人文) 集落(密, ない)	(地域等) ルソンの中南部						
土地利用図	利用しなかった。既存利用作成	(基図縮尺)	(基図コーナー)		(分類) 植生 (9)							
参考事項	コンターが誤っていたため, 等高線不十分											

(FS) (案件) 国名記入 タイ……タイ東部水資源開発計画(フェーズII)

分野 (大分類) 建設 (中分類) 水資源		地域 開発		空中写真 (使用成果)		地図	
区分	(A) 河川計画, 設計	(B)	(C)	(D)	(E)	摘要	
使用	1/50,000						
希望縮尺	1/10,000						
標準	1/5,000						
作成機関	相手国測量機関						
作成目的	汎用図						
重要な表示事項	地形, 河川, 道路						
重要な精度	道路, 等高線						
調査対象範囲(面・線)	3,700 Km ²						① 面的 3,700 Km ²
使用地図カバレッジ	6,000 Km ²						② 面的 6,000 Km ²
ほしかった範囲	6,000 Km ²						
標準範囲	6,000 Km ²						
地域特性	(B.L.) E.100°50'~101°40' N.12°30'~13°40'	(植生) 耕地, 樹林	(地形) 平坦, 丘陵	(人文) 集落点散	(地域等) タイ・チョンブリー県 ランソン県		
土地利用図	既存利用	(基図縮尺) 1/50,000	(基図コンター) 5 m	(分類) 植生 (12)			
参考事項							

(FS) (案件) 国名記入 インドネシア.....パダダーン治水計画調査

分野 (大分類) 建設 (中分類) 水資源 (小分類) 河川 (使用成果) (空中写真) (地図)

区分		(A) 計画設計	(B) 流域調査	(C)	(D)	(E)	摘要
使用 希望 標準	縮尺 等高線	1 / 5,000 2 m	1 / 50,000 10 m				
作成機関	入手先	1 / 5,000 0.5 m	1 / 50,000 5 m				
作成目的	相手国測量機関 相手国測量機	相手国測量機関 機	同				
重要な表示事項	目的	相手国が汎用目的で作成					
重要な精度		地形, 河川, 道路 河川, 等高線					
調査対象範囲(面・線)		40 Km × 0.3 Km	530 Km ²				① 線状 40 Km × 0.3 Km ② 面的 530 Km ²
使用地図カバ一範囲		100 Km ²	530 Km ²				
ほしかった範囲		100 Km ²	530 Km ²				
標準範囲		100 Km ²	530 Km ²				
地域特性		(B.L.) S 0°43' ~ 1°01' E 100°20' ~ 100°33'	(植生) 耕地, 都市	(地形) 平坦地	(人文) 都市	(地域等) スマートラ州	
土地利用図		既存利用	(基図縮尺) 1 / 5,000	(基図コンター) 2 m	(分類) 植生 (15分類)		
参考事項		※河川改修(流域調査): 1 / 50,000全体調査 氾濫地域調査(市内排水計画): 1 / 5,000緊急対策 (河道改修) 当条件					

分野 (大分類) 建設		開発計画		地域閉鎖		空中写真		地図	
		(中分類) 水質		(小分類) ダム, かんがい, 河川		(使用成果)		(使用成果)	
区分	(A) 河川調査, 設計	(B)	(C)	(D)	(E)	摘要			
使用	1 / 25,000	5 m							
希望縮尺	等高線	1 / 10,000							
標準	1 / 5,000	2.5 m							
作成機関	入手先	J I C A	J I C A						
作成目的	J I C A								
重要な表示事項	地形, 河川, 道路								
重要な精度	河川, 等高線								
調査対象範囲(面・線)	200 Km ²					① 面的 200 Km ²			
使用地図カバ-範囲	1,400 Km ²					② 面的 1,400 Km ²			
ほしかった範囲	1,400 Km ²								
標準範囲	1,400 Km ²								
地域特性	(B.L) N 3° 55' ~ 4° 30' / E 119° 05' ~ 120° 05'	(植生) 耕地, 樹林	(地形) 平坦地, 丘陵	(人文) 集落点散地域	(地域等) インドネシア東部				
土地利用図	既存利用作成	(基図縮尺) 1 / 25,000	(基図コンター) 5 m	(分類) 植生 (16)					
参考事項									

分野 (大分類) 選		開 発 計 画 設 計 画 説 明		地 域 開 発 資 源		(小分類) ダム, かんがい, 河川		(使用成果) 空中写真, 地形図	
区 分	(A) プロジェクトエリアの選定	(B) 土地利用現況調査計画	(C) 河川現況排水現況調査	(D) 広域気象, 水文調査	(E) ダムサイト選定及び概略設計	摘 要			
使用希望標準	1/10,000 0.5 m	1/50,000 20 m	1/10,000 0.5 m	1/200,000 1/200,000	1/4,000 0.5 m				
作成機関	相手国その他政府機関	同 左	同 左	同 左	同 左				
作成目的	相手国が当該案件用に	汎用図目的	相手国が当該案件用に	汎用図目的	相手国が当該案件用に				
重要な表示事項	地形, 植生, 河川	植生, 河川, 道路	地形, 河川, 種々の目標物	同 左	地形, 河川, 道路				
重要な精度	水準点などの標高	河 川	河 川	目 標 物	水準点などの標高				
調査対象範囲(面・線)	200 Km ²	240 Km ²	200 Km ²	詳細不明	200 Km ²	① 面的 ② 面的			
使用地図カバレッジ	160 Km ²		40 × 0.7		160 Km ²				
ほしかった範囲	200 Km ²	240 Km ²	200 Km ²	50 × 1.5	200 Km ²				
標準範囲	240 Km ²	240 Km ²	240 Km ²	50 × 1.5	200 Km ²				
地域特性	(B.L.)	(植生) 耕 地	(地形) 平坦地, 丘陵	(人文) 集落(密点)	(地域等) ルソン島, バンゴン, スエビビスカヤ州, ソラノを中心とした盆地				
土地利用図作成	(基図縮尺) 1/10,000	(基図縮尺) 1/10,000	(基図縮尺) 0.5 m	(分類) 人文, 植生(13) 地形(13) 土壌(7)					
参 考 事 項	<p>※本プロジェクトに使用したたべベス・マップは相手国政府の測量部門がプロジェクティブに作成したたべベス・マップ(エリヤ等)の地形図であり、道路、河川、市街地等の表示は不完全なものであった。調査に際しては、概略、米軍が撮影した航空写真を使用し、照合しながら上記の地形図を補充して使用した。一般にフィリピン政府が地形図を複製して作成する技術は不十分であり、今後この種の面的な調査に際しては、航測写真の図による地形図を先行する必要がある。</p>		<p>土地利用計画、もつと詳細な図面が必要だったので相手国政府突刺の1/1万の地形図と現地調査でおぎなった。</p>		<p>ルソン島最大のカガヤン川の支流のマガット川上流に当り、底水流降が安定している。又地域内に多くの小河川及び既存のかんがい水降網が発達している。</p>				

(F.S) (案件) 国名記入 アルジェリア……フエアララ湖周辺地域農業開発計画実施調査

分野 (大分類) 調査計画 (中分類) 地域開発 (小分類) (使用成果) 空中写真, 地図

区分		(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	摘要
使用 希望 標準	縮尺 等高線						
作成機関	入手先						
作成目的							
重要な表示事項							
重要な精度							
調査対象範囲(面・線)							① 面的 2.4 km ² ② 面的 5.0 km ²
使用地図カバ-範囲							
ほしかった範囲							
標準範囲							
地域特性	(B.L) N7°20' ~ 7°30' E36°55' ~ 36°45'	(植生) 草地, 湿地	(地形) 平坦, 丘陵	(人文) 集落点散		(地味等)	
土地利用図	利用しなかった	(基図縮尺)	(基図コンター)	(分類)			
参考事項	地図に対する検討 ナシ	*この業務において, 当社は着陸開発計画を担当したが, 他の分野で決定した土地利用啓蒙計画に基づいてスタディしたため, 特に地図に対する検討はなかつた。					

区分		(A) 適地選定	(B) ルート選定	(C) 設	(D) 計	(E)	摘要
使用	縮尺	1/20,000	1/1,000	1/1,000	2π		
希望	等高線		1/500	1/500			
標準			1/500	1/500			
作成機関	入手先	相手国測量機関	同	同	左		
作成目的	当該案件						
重要な表示事項	地形, 河川, 行政界		植生, 地名, 種々の目標物	同	左		
重要な精度	河川		等高線	水準点などの標高			
調査対象範囲(面・線)	115 Km ²	25 × 12	50 Km ²	35 Km ²			① 面的 50 Km ² ② 面的 115 Km ²
使用地図の範囲	500 Km ²						
ほしかった範囲	500 Km ²						
標準範囲	500 Km ²		50 Km ²	35 Km ²			
地域特性	(B.I.)		(植生) 未耕地, 耕地	(地形) 平坦, 丘陵	(人文)	(地域等)	
土地利用図	利用しなかった		(基図縮尺)	(基図コーナー)	(分類)		
参考事項	使用した図面が手許にないの で詳細不明						

(FS) (案件) 国名記入 コロビア パンブロンター川流域農業開発計画

分野 (大分類) 建設		開発計画		地域別投資額		土地、農業のみ担当分 (使用成果) (空中写真、地形、図)	
		(中分類) 水		(小分類) かんがい、河川			
区分	(A) ベース・マップ	(B) 土地利用現況調査	(C) 土壌、土地分級調査	(D) 洪水、浸水域の推定	(E) 土地利用計画	摘要	
使用	1/10,000	1/10,000	1/10,000	1/10,000	1/10,000	1 m	
希望	1/5,000	1/5,000	1/5,000	1/5,000	1/5,000	0.5 m	
標準	1/5,000	1/5,000	1/5,000	1/5,000	1/5,000	0.5 m	
作成機関	相手国の種々事業区及び空中写真を図化	同	同	同	同	左	
作成目的	行政界	地形、植生、河川	同	同	同	左	
重要な表示事項	地形、植生、行政界	地形、植生、河川	同	同	地形、河川、道路		
重要な精度	河川、等高線、その他	目標物、等高線、その他	同	河川、等高線、その他	河川、等高線、その他		
調査対象範囲(面・線)	135 Km ²	135 Km ²	135 Km ²	135 Km ²	135 Km ²		① 面的 135 Km ²
使用地図カバ一範囲	150 Km ²	150 Km ²	150 Km ²	150 Km ²	150 Km ²		② 面的 135 Km ²
ほしいかった範囲	200 Km ²	200 Km ²	200 Km ²	200 Km ²	200 Km ²		
標準範囲	(B.L.)	(植生) 湿地、未耕地、耕地	(地形) 平坦、丘陵	(人文) 集落点散	(地域等)		
地域特性	作成	(植生) 湿地、未耕地、耕地	(地形) 平坦、丘陵	(人文) 集落点散	(地域等)		
土地利用図	作成	(植生) 湿地、未耕地、耕地	(地形) 平坦、丘陵	(人文) 集落点散	(地域等)		
参考事項	当社の担当分野 土壌及び農業	(植生) 湿地、未耕地、耕地	(地形) 平坦、丘陵	(人文) 集落点散	(地域等)		

分野 (大分類) 建設 (中分類) 水資源 (小分類) かんがい (使用成果) (空中写真) (地図)		開発計画		地域開発		
区分	(A) プロジェクト地域の決定	(B) 土地利用現況調査	(C) かんがい排水ルート選定	(D) 主要構造物計画	(E) 園場計画 (モデル)	摘要
使用縮尺	1 / 10,000	1 / 10,000	1 / 10,000	1 / 10,000	1 / 10,000	0.5 m
希望縮尺		1 / 5,000		1 / 2,500	1 / 5,000	0.25 m
標準縮尺	1 / 10,000	1 / 5,000	1 / 10,000	1 / 2,500	1 / 5,000	0.25 m
作成機関	相手国その他の政府機関	同	同	同	同	左
作成目的	当該案件	同	同	同	同	左
重要な表示事項	地形, 植生, 河川	地形, 植生, 河川	地形, 河川, 道路	地形, 河川, 道路	地形, 種々の目録物所有区画	
重要な精度	河川等高線	同	同	同	同	左
調査対象範囲 (面・線)	169.6 Km ²	169.6 Km ²	164.8 Km ²	164.8 Km ²	10 Km ²	① 面的 164.8 Km ²
使用地図カバレッジ	200 Km ²	200 Km ²	200 Km ²	200 Km ²	200 Km ²	② 面的 169.6 Km ²
ほしかった範囲	240 Km ²	240 Km ²	200 Km ²	200 Km ²	10 Km ²	
標準範囲	200 Km ²	200 Km ²	200 Km ²	200 Km ²	10 Km ²	
地域特性	(B.L) N 14° E 100°30'	(植生) 耕地	(地形) 平坦	(人文) 集落点散	(地域等) サラブリ県, ケン コイ, バンモ	
土地利用図作成		(基図縮尺) 1 / 10,000	(基図コンタクト) 0.5 m	(分類) 人文, 植生 (6) 地形 (5) 土壌 (15)		
参考事項	本件に関し, プロジェクトエリアの決定のため, 河川の対岸を含む, 地域の地図も必要であった	同	左			チャオブラヤ川支流のパサク川にそった河岸段丘上の天水田が90%を占める。

分野 (大分類) 建設 (中分類) 土地開拓その他 (小分類) 干拓, 農業開発 (使用成果) 空中写真, 地図						
区分	(A) 設計	(B) 現地選定	(C) 路線選定	(D) 現況土地利用判別	(E) 土壌図作成	摘要
使用 希望 縮尺 等高線	1/10,000 0.5m	1/50,000 1m	1/10,000 0.5m	1/50,000 1m	1/50,000 1m	
作成機関 入手先	JICA JICA	JICA JICA	JICA JICA	JICA JICA	JICA JICA	
作成目的	JICA JICA	JICA JICA	JICA JICA	JICA JICA	JICA JICA	
重要な表示事項	地形, 植生, 道路	地形, 植生, 河川	地形, 河川, 道路	地形, 植生, 河川	地形, 植生, 河川	
重要な精度	等高線	陸地と湖沼地の境界	等高線	地物		
調査対象範囲(面・線)	480 Km ² 21×23	同左	同左	同左	同左	① 面的 450 Km ² ② 面的 460 Km ²
使用地図カバ-範囲	480 Km ² 21×23					
ほしかった範囲	480 Km ² 21×23					
標準範囲	480 Km ² 21×23					
地域特性	(B.L.) N31°16' E32°17'	(植生) 湿地	(地形) 平地	(人文) 集落のない地域	(地域等)	
土地利用図	利用しなかった	(基図縮尺)	(基図コンター)	(分類)		
参考事項	実測	突測			干拓, 農業開発	

※本案件は計画地区全体の測量業務を含み S=1/10,000 地形図を作成した。

分野 (大分類) 建設		開発計画		地域開発		空中写真 (使用成果)		地図					
区		(A) 適地選定		(B) 設計		(C) 土地利用判別		(D)		(E)		摘要	
使用	希望	縮尺	等高線	1 / 5,000	0.25 m	1 / 5,000	0.25 m						
	標準			1 / 10,000	0.1 m	1 / 10,000	0.1 m	本件では0.1 m					
作成機関	入手先	JICA	同左	JICA	同左	JICA	同左	同左					
作成目的		同	同上	同	同上	同	同上	同					
重要な表示事項		地形, 植生, 河川											
重要な精度		等高線											
調査対象範囲(面・線)		120 Km ²											① 面的 30 Km ²
使用地図カバ-範囲		60 Km ²											② 面的 120 Km ²
ほしかった範囲		120 Km ²											
標準範囲		120 Km ²											
地域特性		(B.L.) N 18°00' E 78°00'		(植生) 湿地	地	(地形) 平坦地	(人文) 集落のない地域						
土地利用図	作成			(基図縮尺) 1 / 10,000		(基図コンター) 0.25 m	(分類) 植生						
参考事項		平坦すぎ, スワンプ内の単点が少ない。 (測量期間を長くして, もっと調査する事)		※F/S範囲が広く設計に支障を与えた。									(ピ-トスワンプ) 泥炭地の農業開発 (平坦すぎる。コンター0.1 m必要)

分野 (大分類) 建設 (中分類) 水 資 源 (小分類) かんがい (使用成果) 空中写真, 地 図

区 分		(A) 適地選定	(B) 設計(用水パイプライン 排水路)	(C) 土地利用判別	(D)	(E)	摘 要
使用 希望 縮尺 標準		1/5,000	1/5,000	1/5,000	1m		
作成機関	入 手 先	JICA	JICA	JICA	JICA		
作 成 目 的		J I C A	J I C A	J I C A	J I C A		
重要な表示事項	地形, 植生, 河川						
重要な精度	等高線						
調査対象範囲(面・線)		40 km ²					① 面 積 40 km ²
使用地図カバー範囲		40 km ²					
ほしかった範囲		40 km ²					
標準範囲		40 km ²					
地域特性	(B.L.)		(植生) 湿地	(地形) 平坦地	(人文) 集落点散	(地域等) トレンガス, プキバウ	
土地利用図	利用しなかった		(基図縮尺)	(基図コーナー)	(分相)		
参 考 事 項						泥炭地の開発	

(F.S) (案件) 国名記入 マレーシア トレンガヌ沼沢地農業計画実施調査

分野 (大分類) 建設 (中分類) 水資源 (小分類) かんがい (使用成果) 空中写真, 地図

区分		(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	摘要
使用 希望 標準	縮尺 等高線						
作成機関	入手先						
作成目的							
重要な表示事項							
重要な精度							
調査対象範囲(面・線)							① 面的 510 Km ² ② 面的 1,000 Km ²
使用地図カバ-範囲 ほしかった範囲 標準範囲							
地域特性	(B.L)N4°40' E103°10' 利用しなかった。既存利用 作成	(植生) 湿地 (基図縮尺)	(地形) 平地 (基図コンター)	(人文) 集落のない地域 (分類)	(地域等)		
土地利用図							
参考事項							ピートスワンプ(泥炭地)の農業開発

分野 (大分類) 建設 (中分類) 地域開発水源 (小分類) かんがい (使用成果) 空中写真 地		調査票 4673			
区分	(A) 現地調査	(B) (用・排水設計画) 路線選定	(C) 設計(ダムサイト)	(D) 土地利用判別	(E) 摘要
使用	1/50,000	1/10,000	1 m	1 m	20 m
希望縮尺	1/25,000			1/5,000	10 m
標準	10 m			1/5,000	10 m
作成機関	相手国測量機関 相手の政府機関	同	同	同	同
作成目的	汎用図	同	左	左	左
重要な表示事項	地形、河川、地名	同	同	同	地形、行政界、地名
重要な精度	地物、等高線	地物、水準点などの標高	同	同	地物、等高線
調査対象範囲(面・線)	200 ㍍	0.1 km × 150 km	1 × 15	150 ㍍	① 面的 84 km ²
使用地図カバ-範囲	800 ㍍	0.5 × 160	7 × 15	800 ㍍	
はしかった範囲	100 ㍍	0.5 × 160	1 × 15	100 ㍍	
標準範囲	500 ㍍	0.5 × 160	1 × 15	500 ㍍	
地域特性	(B.L.) N 18°25' E 99°30'	(植生) 耕地	(地形) 平坦地	(人文) 集落点散地	(地域等) メ・チャン地域
土地利用図	利用しなかった	(基図縮尺)	(基図コンター)	(分類)	
参考事項	プロジェクト地域境界調査、 用排水路調査、流域調査 (ダム計画～送水路～圃場計 画)と線的なものと面的なも のが一掃の計画であり、仕方 がない。			土地分級、土壌分類 プロジェクエリアの選定の ため、多少広い調査が必要で あった。	

7-2 使用した地図の縮尺、等高線間隔についてお答え下さい。

設問項目	A	B	C	D	E
地図の区分					
(1) 縮尺について					
(イ) 縮尺はいくらでしたか	(5) 万分の1	(1) 万分の1	(1) 万分の1	(5) 万分の1	() 万分の1
(ロ) それで十分でしたか	はい、いいえ	はい、いいえ	はい、いいえ	はい、いいえ	はい、いいえ
(ハ) まにあったが、よくをいえば、この縮尺がほしい	(2.5) 万分の1	() 万分の1	(0.5) 万分の1	() 万分の1	() 万分の1
(ニ) ※この目的・用途には、この縮尺が最もほしい	() 万分の1	() 万分の1	(0.5) 万分の1	() 万分の1	() 万分の1
等高線間隔について					
(イ) 等高線間隔は、いくらでしたか	(20) m 又は Feet	(1) m 又は Feet	(1) m 又は Feet	(20) m 又は Feet	() m 又は Feet
(ロ) それで十分でしたか	はい、いいえ	はい、いいえ	はい、いいえ	はい、いいえ	はい、いいえ
(ハ) まにあったが、よくをいえば、この間隔が欲しい	(10) m 又は Feet	() m 又は Feet	() m 又は Feet	(10) m 又は Feet	() m 又は Feet
(ニ) ※この目的・用途にはこの間隔が最もほしい	(10) m 又は Feet	() m 又は Feet	() m 又は Feet	(10) m 又は Feet	() m 又は Feet
(3) 前問(1)の(ロ)で「いいえ」と答えられた方は、理由欄に簡明かつ適宜な表現で、その理由を書いて下さい。また、対策欄には(3)の表から選んで下さい。	(1)理由	(1)理由	(1)理由 ダム設計の為に図面であり、もう少し精度の高い図面が必要であった(ダムサイトのみ)	(1)理由	(1)理由
(4) 前問(2)の(ロ)で「いいえ」と答えられた方は、理由欄に簡明かつ適宜な表現で、その理由を書いて下さい。また、対策欄には(4)の表から選んで下さい。	(2)対策	(2)対策	(2)対策 1 万分の1の地図を拡大して使った。	(2)対策	(2)対策
	(1)理由 用・排水路調査時には勾配を知るために、もうワンランク上のコンタナーが欲しい為	(1)理由	(1)理由	(1)理由 土地分級で地形勾配を知るには、20mコンタナーでは不足	(1)理由
	(2)対策 図面拡大及び想定コンタナーの書き込み	(2)対策	(2)対策	(2)対策 想定コンタナーの書き込み	(2)対策

※ 本案件の特殊性を含まない標準的な場合について御記入下さい。

(FS) (案件) 国名記入 フラブ首長閣……水資源開発計画

分野 (大分類)		開発計画 (中分類)		地域開発 (小分類)		ダム, かんがい		(使用成果)		(空中写真)		(地図)	
区分	(A) 適地	地速定	(B) 設計	計	(C)	(D)	(E)	摘要					
使用希望標準	1/25,000 1/10,000 1/10,000	25 m 等高線	1/5,000 1/1,000	1 ~ 2 m 0.5 m									
作成機関	第三国機関	相手国その他の政府機関	JICA JICA	JICA									
作成目的	汎用図		JICA										
重要な表示事項	地形, 河川, 道路		同	左									
重要な精度	等高線												
調査対象範囲(面・線)	260 畓	26 × 10	20 畓	20 × 1				①面の 260 畓 ②線状 30km × 10km					
使用地図カバ-範囲	300 畓	30 × 10	20 畓	20 × 1									
ほしかった範囲	300 畓	30 × 10	20 畓	20 × 1									
標準範囲	300 畓	30 × 10	45 畓	30 × 1.5									
地域特性	(B.L)		(植生) 砂 漠	(地形) 平 坦	(人文) 集 落 点 散			(地質等) ワジ・ミマール					
土地利用	利用しなかった		(基図縮尺)	(基図コンター)	(分類)								
参考事項	ダム建設計画調査のため、全流域の地形図を必要とした。(ダムサイトにおける設計上の縮尺では無理)	ダム設計上 F/S レベルでは 1/1,000 以上の縮尺, 0.5 m コンターが望ましい。河川縦断断面として、この地域で必要な地形図は、縦断 20km, 横断 1km であった為。											

分野 (大分類)		開発計画 (中分類)		地域開発 (小分類)		空中写真 (使用成果)		地図	
区分	(A) かんがい適地選定	(B) 水路計画	(C)	(D)	(E)	摘要			
使用希望標準	1/50,000 10m 5m	1/15,000 1m							
作成機関	相手国測量機関	その他の政府機関	同						
作成目的	相手国が汎用目的で作成	相手国が当該案件用に	同						
重要な表示事項	地形、植生、河川	同	左						
重要な精度	河川、等高線								
調査対象範囲(面・線)	36.5 ㌔	36.5 ㌔							①面的 36.5 Km ² ②面的 500 Km ²
使用地図カバ一範囲	750 ㌔	80 ㌔							
ほしかった範囲	200 ㌔	"							
標準範囲	"	"							
地域特性	(B.L.)	(植生) 耕地	(地形) 平坦地				(人文) 集落点散地域 (地域等)		
土地利用図	既存利用	(植生縮尺) 1/50,000	(地形縮尺) 10m				(分類) 植生(4分類)		
参考事項									46 45 建設技研(ダム関係)

分野 (大分類) 建設 (中分類) 水資源 (小分類) かんがい (使用成果) 空中写真, 地図		開発計画		地域開発		
区分	(A) 土地利用の判別	(B) ルートの選定	(C) 設計	(D) 土量計算	(E) 適地選定	概要
使用希望標準	1/10,000 1m	1/10,000 1m	1/10,000 1m	1/10,000 1m	1/10,000 1m	
等高線				0.5m	0.5m	
作成機関	JICA	同	同	同	同	
入手先	JICA	左	左	左	左	
作成目的	JICAが当該案件用に作成					
重要な表示事項						
重要な程度						
調査対象範囲(面・線)	300 畓 20 km × 10 km					① 面的 310 畓 線状 25 km × 15 km
使用地図カバ一範囲	300 畓 20 km × 10 km					② 面的 350 畓 線状 30 km × 20 km
ほしかった範囲	350 畓 30 km × 20 km					
標準範囲	350 畓 30 km × 20 km					
地域特性	(B.L) N 31° E 32°	(植生) 砂漠	(地形) 平坦地	(人文) 集落のない地域	(地域等) ナイルデルタの北東部, スエズ運河西方向約 25 km カイロ市の北東約 150 km に位置しており, 地区面積約 34,000 ヘクタールである。 1980/7 ~ 1981/3	
土地利用図	利用しなかった	(基図縮尺)	(基図コンター)	(分類)		
参考事項	河川の流域まで含める必要がある。	水源施設を含めた場合に必要である。	水源施設等の設計に必要である。			

分野 (大分類) 建設 (中分類) 水資源 (小分類) ダム, かんがい, 発電 (使用成果) (空中写真) (地) (図)

区分		(A) ベースマップ	(B) プロジェクト地区の全体の流域界判定	(C)	(D)	(E)	摘要
使用	1/4,000	5 m, 1 m	1/50,000	25 m			
希望縮尺							
等高線							
標							
作成機関	JICA	JICA	第三国機関 相手国測量機関	相手国その他の政府機関			
入手先	JICA	JICA					
目的	JICAが当該案件用に作成		相手国が汎用目的で作成				
重要な表示事項	地形, 植生, 河川		地形, 河川, 道路				
重要な精度	金で重要である		道 路				
調査対象範囲(面・線)	300 km ²						①面的 300 km ² 線状 15km×20km ②面的 600 km ² 線状 20 km×30 km
使用地図カバレッジ	150 km ²	13km×25km					
ほしかった範囲	600 km ²	20km×30km					
標準範囲	"	"					
地域特性	(B.L.) E 123° 00' N 11° 15'		(植生) 未耕地, 耕地		(地形) 平坦地, 丘陵	(人文) 集落点散地域	(地層等) 水田地帯 フィリピン共和国, パナイ島, イロイロ州, アスエ川流域
土地利用図	作成	成	(基図縮尺) 1/20,000		(基図コンター) 1~5 m	(分類) 植生, 地形	
等高線: 平坦地 1 m ダム流域 5 m			プロジェクト地区全体の流域 界及び広域道路網判定	※測量精度があまり低いと F/Sの比較等に制限が 出てくるのでできるだけ バナーした方がよい	その他, 土壌分類		
参考事項	※ダムサイト選定, 貯水池, かんがい, 水路, 排水路線の選定, 土地利用判別, 排水, 河川流域界判定, その他基本計画 面ベースマップ						

(F.S) (案件) 図名記入 タイ……ベチャブリかんがい農業開発計画実施調査

分野 (大分類) 建設計画		開闢計画 (中分類) 地域開闢		水資源 (小分類) かんがい		空中写真 (使用成果)		地		
区分	用途	(A) 土地利用判別		(B) ほ場整備状況判別		(C) 用排水系統図作成		(D) 用排水ルート選定		備考
		1/10,000	1m	1/10,000	1m	1/10,000	1m	1/10,000	1m	
縮尺	等高線									
希望縮尺										
標準										
作成機関	入手先	相手国その他の政府機関	左	同	左	同	左	同	左	
作成目的		相手国が当該案件に								
重要な表示事項		地形, 植生, 河川								
重要な精度		水準点などの標高								
調査対象範囲(面・線)		740 ㍍		740 ㍍		740 ㍍		740 ㍍		
使用地図カバ一範囲		800 ㍍		800 ㍍		800 ㍍		800 ㍍		
ほしかった範囲		800 ㍍		800 ㍍		800 ㍍		800 ㍍		
標準範囲		800 ㍍		800 ㍍		800 ㍍		800 ㍍		
地域特性		(B.L.) N 12°30' ~ 13°15' E 99°50' ~ 100°05'		(植生) 耕地		(地形) 平坦地		(人文) 集落点散		(地域等)
土地利用図		作成		(基図縮尺) 1/10,000		(基図コンター) 1m		(分類) 人文的		
参考事項										

分野 (大分類) 建設 (中分類) 水資源 (小分類) かんがい (使用成果) 空中写真 (地) 図

区分		(A) 適地選定	(B) ルート選定	(C) 設計	(D)	(E)	摘要
使用縮尺	等高線	1/50,000	1/1,000	1/5,000	1m		
希望縮尺							
標準							
作成機関	入手先	JICA	JICA	自社	自社		
作成目的		JICAが当該案件用に作成		同左	同左		
重要な表示事項		地形, 河川, 地名		地形, 河川, 額々の目標物	地形, 道路, 建物		
重要な精度		等高線		等高線	等高線		
調査対象範囲(面・線)		1,283 km ²	1.0 km ²	1.0 km ²			①面的 約2 km ² ②面的 1,283 km ²
使用地図カバ一範囲		1,400 km ²	2.16 km ²	4.62 km ²	2.2 km × 2.1 km		
ほしかった範囲		"	"	"	"		
標準範囲		"	"	"	"		
地域特性		(B.L.)	(植生) 砂漠	(地形) 丘陵	(人文) 集落点散地域	(地域等)	
土地利用図		作成	(基準縮尺) 1/5,000	(基図コンター) 1.0m	(分類) 植生(4分類)		
		流域調査	ダムサイト設計	圃場設計			
参考事項							

(F.S) (案件) 国名記入 エジプト……北部ホワイニア及びポートサイド南部遊業開発計画実施調査

分野 (大分類) 建設 (中分類) 水 資源 源 (小分類) かんがい (使用成果) 空中写真、地 図

区 分		(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	摘 要
使用 希望 標準	縮尺 等高線						
作成機関	入 手 先						
作 成 目 的							
重要な表示事項							
重要な精度							
調査対象範囲(面・線)							
使用地図カバ-範囲							
ほしかった範囲							
標準範囲							
地域特性	(B.L.)	(植生) 砂漠, 湿地, 耕地, 湖沼	(地形) 平坦地	(人文) 集落点散	(地感等)		
土地利用図	利用しなかった	(基図縮尺)	(基図モニター)	(分類)			
参 考 事 項	当社は下調べにつき、詳細不明						

(F.S) (案件) 国名記入 アルジェリア アエツアラ湖周辺地域計画実施調査

分野 (大分類) 建設計画 (中分類) 建設		地域開発 (中分類) 水資源		地域開発 (中分類) 水資源		空中写真 (使用成果) 空中写真 (使用成果)		地区	
区	分	(A) 土地利用判別	(B) 開発適地選定	(C) 用・排水ルート選定	(D)	(E)	摘要		
使用	縮尺	1/25,000	1/10,000	1/10,000	1 m				
希望	等高線								
標準									
作成機関	入手先	第三国機関	JICA	JICA	JICA				
作成目的		相手国測量機関 JICAが当該案件用に	同	同	左				
重要な表示事項		地形, 植生, 注記	地形, 河川, 道路	地形, 河川, 鉄道					
重要な精度		道路, 等高線	河川, 等高線	河川, 等高線					
調査対象範囲(面・線)		200 ㎥	200 ㎥	200 ㎥					①面的 200 ㎥ ②面的 500 ㎥
使用地図カバ-範囲		300 ㎥	300 ㎥	300 ㎥					
ほしかった範囲			500 ㎥	300 ㎥					
標準範囲									
地域特性		(B.L)	(植生) 遊地	(地形) 平坦地		(人文) 集落点散地		(地域等)	
土地利用図		利用しなかった	(基図縮尺)	(基図コンター)		(分類)			
参考事項		※ダム遊地等は, 対象事業地区より遠く隔れて位置していた。							Ⅷ66, Ⅷ167 S/P

区分		(A) 地形解析	(B) 施設計画	(C) 土地利用判別	(D) 植生分類	(E) 犯らん区域の設定	摘要
使用	縮尺	1/10,000	1/10,000	1/10,000	1/10,000	1/10,000	5m 地図の入手が くれた。
希望	縮尺		1m				
標準	縮尺	1/10,000	1/2,000	1/10,000	1/10,000	1/10,000	5m
作成機関	優先	JICA	相手国のその他 の政府機関	JICA	同	同	
作成目的		JICA	JICA が当該案件用に作成 機関	JICA	左	左	
重要な表示事項		地形, 河川, 種々の目標物	相手国のその他 の政府機関	植生, 建物, 行政界	地形, 植生, 河川	地形, 河川, 種々の目標物	
重要な精度		河川, 水準点などの標高	河川, 種々の目標物, その他	河川, 等高線	河川, 等高線	河川, 等高線	
調査対象範囲(面・線)		730 km ²	1 km × 100 km	730 km ²	730 km ²	730 km ²	①面的 730 km ² ②面的 730 km ²
使用地図カバレッジ		"	1 km × 70 km	"	"	"	
ほしかった範囲		550 km ²	1 km × 100 km	"	"	"	
標準範囲		"	"	"	"	"	
地域特性		(B.L) E 113° S 8°	(植生) 耕地	(地形) 急峻	(人文) 集落点散地域	(地域等) 活火山の山麓	
土地利用図		既存利用	(基図縮尺) 1/50,000	(基図コンター) 25m	(分類) 人文		
参考事項		調査対象地域に含まない一部の の荒域面積が必要となった。	河道内の施設(砂防)計画の ため, 大縮尺が必要。	米軍作成で古いもの, 最終総合判定を 行う。			

分野 (大分類) 建設 (中分類) 水資源 (小分類) ダム, かんがい, 発電, 河川 (使用成果) 空中写真, 地図		開設計画		地域開発	
区分	(A) 水文解析及び灌漑計画	(B) ダム計画	(C) 貯水池計画	(D)	(E)
使用希望標準	1/63,000 76.25 m	1/1,000 2 m	1/10,000 5 m		
作成機関	相手国その他の政府機関	JICA	同		
作成目的	汎用図	JICA	同		
重要な表示事項	地形, 植生, 河川	同	同		
重要な精度	河川, 等高線	同	同		
調査対象範囲(面・線)	14,000 ㎡	0.5 ㎡	13 ㎡		①面的 14,000 ㎡
使用地図カバー範囲	14,000 ㎡	0.5 ㎡	20 ㎡		②面的 14,000 ㎡
ほしかった範囲					
標準範囲					
地域特性	(B.L.)	(植生) 過地, 未耕地, 耕地, 樹林	(地形) 平坦地, 丘陵, 高地	(人文) 都市, 集落(密点, ない)	(地域等) ベルリクス州, ケタ州, プラウビナン州
土地利用図	既存利用	(基図縮尺) 1/10,000	(基図縮尺) 5 m	(分類) 人文的	
参考事項					

分野 (大分類) 建設 (中分類) 水資源 (小分類) かんがい, 河川 (使用成果) 空中写真, 地図

区分		(A) ベース・マップ	(B) 河川改修	(C)	(D)	(E)	摘要
使用	縮尺	1/25,000	1/5,000				
希望	等高線	10 m	10 m				
標準		1/5,000	1 m				
作成機関	入手先	JICA	JICA	JICA			
作成目的		JICA	JICA	JICA			
重要な表示事項		地形, 植生, 河川	地形, 河川, 建物				
重要な精度		等高線	河川				
調査対象範囲(面・線)		1,300 畓	57 畓				①面的 1,300 Km ² 線状 18 Km×72 Km ②面的 1,300 Km ² 線状 18 Km×72 Km
使用地図カバ一範囲		1,300 畓	57 畓				
ほしかった範囲		1,300 畓	57 畓				
標準範囲		1,300 畓	57 畓				
地域特性		(B.L.) N 14°45' ~ 15°30' E 120°20' ~ 120°51'	(植生) 耕地	(地形) 平坦地	(人文) 集落点散地域	(地域等) ルソン島の中南部 パンプン河右岸の平坦(海岸 0.7mから上流部の10m)な沖 積平野	
土地利用図		作成	(基図縮尺) 1/25,000	(基図コーナー) 10 m	(分類) 植生 (4)		
参考事項		F/Sの精度に達していないため縮尺不十分(極めて平坦地のため10mコーナーでは用排水路の選定等に困難であった)	10mコーナーでは, 河川改修築造の土工盤等の算定に精度上問題があり, 不十分であった。				

分野 (大分類) 建設		開発計画		地域開発		空中写真		地図	
		(中分類) 建設		(小分類) ダム, かんがい		(使用成果)		(地図)	
区分	(A) ベース・マップ	(B) 土壤調査	(C) 一般概略, かんがい	(D) 土壤調査	(E)	摘要			
使用希望標準	1/50,000 10 m	1/4,000 1/10,000 1/10,000	1/40,000	1/50,000	10 m 5 m				
作成機関	相手国その他の政府機関	相手国測図機関	同	相手国その他の政府機関	左				
入手先	第三国機関	当該案件	その他	汎用図	汎用図				
作成目的	地形, 河川, 道路 河川, 等高線	地形, 植生, 道路 同	地形, 河川, 道路 同	地形, 植生, 河川 同	左				
重要な表示事項									
重要な精度									
調査対象範囲(面・線)	1,100 畓 60 × 30	600 畓 30 × 20	400 畓 24 × 36	1,100 畓 60 × 30	60 × 30	① 面的 780 畓 線状 30 km × 25 km			
使用地図カバ-範囲	1,100 畓 60 × 30	600 畓 30 × 20	400 畓 24 × 36	1,100 畓 60 × 30	60 × 30	② 面的 1,100 畓 線状 30 km × 40 km			
ほしかった範囲	1,100 畓								
標準範囲	1,500 畓								
地域特性	(B.L) N 16° E 120° 30'	(植生) 耕地	(地形) 平坦地	(人文) 集落点散地		(地域等)			
土地利用図	既存利用	(基図縮尺) 1/4,000	(基図コンター) 0.5 m	(分類) 植生 (6)					
参考事項	本案件では, すでに F/S を終了しており, その特殊性により, 受益地選定紋り込み周囲の地図が必要である。	ルート選定用として, 160 畓 (貯水量) 調査用として 1/1 万 (1 m) が必要。		かんがい用ルート選定等。		本案件は, オランダが行った F.S を補充することを実施された。 F.S では, 適地選定用として 1/50,000 と 1/200,000 が必要。			

分野 (大分類) 建設 (中分類) 水 (小分類) かんがい (使用成果) 空中写真, 地		開発計画 (中分類) 水 (小分類) かんがい (使用成果) 空中写真, 地		地域開発 (中分類) 水 (小分類) かんがい (使用成果) 空中写真, 地		調査票 46118	
区分	(A) (土地利用判別及び土工量計算) ベース・マップ	(B)	(C)	(D)	(E)	摘要	
使用希望標準	1/5,000	1 m					
縮尺	等高線						
作成機関	入手先	日本の測量会社	JICA				
作成目的		JICA					
重要な表示事項		地形, 植生, 種々の目標物					
重要な精度		等高線					
調査対象範囲 (面・線)	45 km ²	25 × 1.8					① 面的 45 km ² 線状 25 km × 1.8 km
使用地図カバ-範囲	45 km ²	25 × 1.8					② 面的 45 km ² 線状 25 km × 1.8 km
ほしかった範囲標準範囲	45 km ²	25 × 1.8					
地域特性	(B.L) N 12°40' W 77°52'	(植生) 耕地	(地形) 平坦地	(人文) 集落点散	(地域等) パキスタン地区		
土地利用図	(基図縮尺) 1/5,000	(基図コンター) 1 m	(分類) 農地, 村落, 草地 (水田, 畑)				
参考事項							ニジュール川右岸にそった標高 302 ~ 315 m の河岸段丘。

分野 (大分類) 建設 (中分類) 地域閉鎖 (小分類) 空中写真 (使用成果) 地図						
区	(A) 通地選定	(B)	(C)	(D)	(E)	摘要
使用希望標準	1/5,000	1 m				
縮尺	等高線					
作成機関	入手先	JICA				
作成目的	日本の測量会社	JICA				
重要な表示事項	地形, 植生, 種々の目標物					
重要な精度	等高線					
調査対象範囲(面・線)	150 km ²	30 × 5				①面的 150 km ² 線状 30 km × 5 km
使用地図カバ-範囲	150 km ²	30 × 5				②面的 150 km ² 線状 30 km × 5 km
ほしかった範囲	150 km ²	30 × 5				
標準範囲						
地域特性	(B.L) N 10°25' W 9°15'	(植生) 未耕地, 耕地	(地形) 平地	(人文) 集落点散	(地域等) カンカン地区	
土地利用図	作成	(基図縮尺) 1/5,000	(基図コンター) 1 m	(分類) 荒地, 草地, 荒蕪地, 村落等		
参考事項	かんがい水路のルート選定, 土地利用判別及び土壌計算					ニジェール川支流のミロ川にそった一部丘陵地を含む平坦地 (長 = 358 m ~ 370 m)

分野 (大分類)		開発計画図		地域開発		水資源		(小分類)		かんがい		(使用成果)		空中写真		地形		図	
区分		(A) ベースマップ		(B) 現地速定		(C) 土地利用判別		(D) ルート選定		(E) 貯水地容量計算		備考							
使用	縮尺	1/50,000	15m	1/10,000	1m	1/10,000	1m	1/5,000	1m	1/2,500	0.5m								
希望	縮尺			1/25,000		1/25,000		1/2,500											
標準	等高線																		
作成機関	入手先	相手国資料及び JICA		JICA	JICA	同	左	同	左	同	左								
作成目的		JICA		JICA	JICA														
重要な表示事項		河川, 道路, 地名		河川, 行政界, 道路		植生, 河川, 道路	植生, 河川, 道路	地形, 河川, 種々の目標物	地形, 河川, 種々の目標物	地形, 建物, 種々の目標物									
重要な精度		河川		等高線		地物	地物	地物	地物	等高線									
調査対象範囲(面・線)		2,000 ㍍	(40 × 60)	60 ㍍		60 ㍍		60 ㍍		10 ㍍		① 面的 80 Km ²							
使用地図カバレッジ				80 ㍍		80 ㍍		80 ㍍		15 ㍍		② 面的 1,900 Km ²							
ほしかった範囲				120 ㍍		120 ㍍		120 ㍍		120 ㍍									
標準範囲				120 ㍍		120 ㍍		120 ㍍		120 ㍍									
地域特性		(B.L.) S 4°0' ~ 4°30' E 38°		(植生) 耕地	地	(地形) 平坦地	地	(人文) 集落点散地		(地域等)									
土地利用図		既存利用・作成		(基図縮尺) 1/30,000		(基図コンタナー)		(分類) 人文, 植生 (約10)											
備考				調査対象範囲は計画図のほぼ 1.5 倍, 地図は調査対象面積の 2 倍ほしい。		地形等精度が不足しがち。		D の Contour 精度 up で充分 (0.5 m Contour)											
参考事項				※ ベースマップとして JICA で作成された 1/10,000 (1/5,000 の縮少) は必要面積をカバーしてなく, 土地利用図作成に対しても植生区分が充分でなかった。															

分野 (大分類) 開発計画 (中分類) 地域開発 (小分類) 空中写真 (地 図) (使用成果)

区 分		(A) 測地選定	(B) ルート選定	(C) 設 計	(D)	(E) 土地利用判別	摘 要
使用 希望 縮尺 標準	等高線	1/25,000	1/5,000	1/5,000	0.5 m	1/25,000	3.05 m
作成機関	入 手 先	その他の政府機関	JICA	同	左	その他の政府機関	相手国測量機関
作成目的	的	相手国が汎用目的で作成	JICAが当該案件用に	同	左	相手国が汎用目的で作成	
重要な表示事項		地形, 植生, 河川	地形, 河川, 道路	同	左	植生, 河川	
重要な精度		等高線	等高線	同	左	河 川	
調査対象範囲(面・線)		120 km	50 km	50 km		120 km	①面的 40 km ²
使用地図カバレッジ		"	50 km	50 km		"	②面的 120 km ²
ほしかった範囲		"	50 km	50 km		"	
標準範囲							
地域特性		(B.L.) W 77°50' N 18°00'	(植生) 湿地	(地形) 平坦地		(人文) 集落のない地域	(地域等)
土地利用図		既存利用	(基図縮尺) 1/25,000	(基図コンター) 3.05 m		(分類) 植生による分類	
参考事項							

分野 (大分類) 建設 (中分類) 水資源 (小分類) かんがい (使用成果) 空中写真 (地) 図

区分		(A) 現地選定, ルート選定, 設計	(B)	(C)	(D)	(E)	摘要
使用希望標準	縮尺等高線	1/5,000	1 m				
作成機関	入手先	JICA	JICA				
作成目的		JICA	JICA				
重要な表示事項		地形, 河川, 道路					
重要な精度		河川, 水準点などの標高					
調査対象範囲(面・線)		199 畦					①面的 87 Km ²
使用地図カバー範囲		199 畦					②面的 199 Km ²
ほしかった範囲標準範囲							
地域特性		(B.L) S 1°30' W 79°30'	(植生) 耕地	(地形) 平坦, 丘陵	(人文) 集落点散	(地域等)	
土地利用図		作成	(基図縮尺) 1/25,000	(基図コンター) 5 m	(分類) 人文		
参考事項							

分野 (大分類)		開発計画建設 (中分類)		地域開発 (小分類)		かんがい (使用成果)		空中写真 (地)		図	
区分	分	(A) 土地利用判別	(B) ルート選定	(C) 土地利用計画	(D) 設計	(E) 計	(F) 水文解析	摘要			
使用	縮尺	1/50,000 1/10,000	1/50,000 1/10,000	1/50,000 1/10,000	1/50,000 1/10,000	1/50,000 1/10,000	1/50,000 1/10,000	1/50,000 1/10,000	1/50,000 1/10,000	1/50,000 1/10,000	1/50,000 1/10,000
希望	縮尺	1/50,000 1/10,000	1/50,000 1/10,000	1/50,000 1/10,000	1/50,000 1/10,000	1/50,000 1/10,000	1/50,000 1/10,000	1/50,000 1/10,000	1/50,000 1/10,000	1/50,000 1/10,000	1/50,000 1/10,000
標準	等高線	1/10,000	1/10,000	1/10,000	1/10,000	1/10,000	1/10,000	1/10,000	1/10,000	1/10,000	1/10,000
作成機関	入手先	相手国測量機関 相手国測量機関 相手国測量機関 JICAが他の条件で作成 図	同	同	同	同	同	同	同	同	同
作成目的		地形、河川、道路 道路、等高線	同	同	同	同	同	同	同	同	同
重要な表示事項		地形、河川、道路	同	同	同	同	同	同	同	同	同
重要な精度		道路、等高線	同	同	同	同	同	同	同	同	同
調査対象範囲(面・線)		100 ㎡	100 ㎡	100 ㎡	100 ㎡	100 ㎡	100 ㎡	100 ㎡	100 ㎡	100 ㎡	100 ㎡
使用地図カバ―範囲		100 ㎡	100 ㎡	100 ㎡	100 ㎡	100 ㎡	100 ㎡	100 ㎡	100 ㎡	100 ㎡	100 ㎡
ほしかった範囲											
標準範囲											
地域特性		(B.L.) N 19°00' W 69°40'	(植生) 湿地、耕地	(地形) 平地	(人文) 集落点散	(人文) 集落点散	(地球等) ドミニカ共和国 北東部ナグア市近郊				
土地利用図		作成	(基図縮尺) 1/10,000	(基図コンター) 1m	(分類) 人文的						
参考事項		図が古いため、空中写真をとり、セザイクを作成した。									

(FS) (案件) 同名記入 カンダラ、ワス……アグアン川流域農業開発計画実施調査

分 野 (大分類) 地 域 開 発 (中分類) 水 質 課 (小分類) かんがい (使用成果) 空中写真 地図						
区 分	(A) 適地選定	(B) 土壌分類	(C) 土地利用計画	(D) ルート選定	(E) 設 計	摘 要
使用 希望 標準	1/50,000 10 m	1/5,000 1 m	1/5,000 1 m	1/5,000 1 m	1/5,000 1 m	
作成機関 作成目的	相手国のその他の政府機関 相手国が汎用目的で作成	JICA JICA JICAが当該案件用に	同 左	同 左	1/1,000 1/1,000	
重要な表示事項	地形、河川、行政界	地形、植生、注記	地形、植生、河川	地形、河川、道路	地形、建物、目標物	
重要な精度	河 川	等 高 線	地 物	等 高 線	水準点などの標高	
調査対象範囲(西・線)	250 呎	210 呎	210 呎	210 呎	5 呎	①面的 250 呎 ² ②道的 300 呎 ²
使用地図カバー範囲	500 呎	250 呎	250 呎	250 呎	250 呎	
ほしかった範囲	300 呎	250 呎	250 呎	250 呎	5 呎	
標準範囲	300 呎	250 呎	250 呎	250 呎	5 呎	
地域特性	(P.L) W 85°25' ~ 87°00' N 15°20' ~ 16°00'	(植生) 未耕地, 耕地	(地形) 平地, 丘陵	(人文) 集落点散地	(地域等) アグアン川流域 サブ-オランダート	
土地利用図	作 成	(基準縮尺) 1/5,000	(基準コンター) 1 m	(分類) 植生 (7分類)		
参 考 事 項						

区分		(A) ルール	(B) 土地利用計画	(C) 設計	(D) 開発基本計画	(E)	摘要
使用		1/50,000	1/50,000	1/50,000	1/250,000		
希望縮尺		1/10,000	1/10,000	1/10,000			
標準		1/10,000	1/10,000	1/10,000	1/10,000		
作成機関	入手先	第三国機関	同	同	同	左	
作成目的		その他の政府機関 相手国が当該案件用に	左	左	左		
重要な表示事項		地形, 河川, 道路	同	地形, 河川, 道路	同	左	
重要な精度		道路, 等高線	同	河川, 等高線	同	左	
調査対象範囲(面・線)		16 km	16 km	16 km	240 km		①面的 16 km ² ②面的 240 km ²
使用地図カバー範囲		16 km	16 km	16 km	240 km		
ほしかった範囲							
標準範囲							
地域特性		(B.L.) W 13°10' N 8°50'	(植生) 湿地	(地形) 平地	(人文) 集落点散地	(地域等) シェラレオーネ共和国, ロンベ近況地, ベンテ イ北地区	
土地利用図			(基図縮尺)	(基図コンタナー)	(分類)		
参考事項							

区分	(A) 開発適地の選定		(B) 流域調査とダムサイトの選定		(C) 河川取水工位置の選定		(D) 土壌, 土質調査		(E) 地区内区画整理の設計		摘要
	使用縮尺	等高線	1/5,000	1m	1/50,000	15.25m	1/50,000	1m	1/3,000	15.25m	
作成機関	JICA	JICA	相手国のその他の政府機関	相手国のその他の政府機関	JICA	JICA	相手国のその他の政府機関	相手国のその他の政府機関	JICA	JICA	
作成目的	JICAが当該案件用に	JICAが当該案件用に	相手国が汎用目的で作成	相手国が汎用目的で作成	JICAが当該案件用に	JICAが当該案件用に	相手国が汎用目的で作成	相手国が汎用目的で作成	JICAが当該案件用に	JICAが当該案件用に	
重要な表示事項	地形, 河川, 地名										
重要な精度	河川, 等高線										
調査対象範囲(面・線)	6km ²		415km ²		6km ²		415km ²		6km ²		①面的 6 Km ²
使用地図カバー範囲	6km ²		415km ²		6km ²		415km ²		6km ²		②面的 415 Km ²
ほしかった範囲	12km ²		415km ²		6km ²		415km ²		6km ²		
標準範囲	12km ²		415km ²		6km ²		415km ²		6km ²		
地域特性	(B.L) E 38°, S 4°		(植生) 耕地	地	(地形) 平坦地		(人文) 集落点散地域		(地域等) タンザニア国 キリマンジャロ州 ムコマジバレイ		
土地利用図	作成		(基図縮尺) 1/50,000		(基図コンター) 15.25m		(分類) 人文(耕地), 地形(4)				
参考事項	<p>1/5,000の縮尺では大きくて、地域全体の地形が見わたせない。6km²の流域調査を必要とした理由は、開発対象地域の選定を広域的に把握するため。</p> <p>※ JICA が当該案件用に作成した地形図は、しばしば調査対象地域をかバーしていない事がある。このため、調査団が自ら補足測量を実施しなければならなくなる。したがって、地形図作成時点では対象地域のみならず、その周辺地域を極力広範囲に（場合によってはコンサル側の意見を考慮して）図化する事が望ましい。</p>										

分野 (大分類) 開発計画 (中分類) 地域開発 (小分類) (使用成果) 空中写真, 地図

区分		(A) 開発範囲の選定	(B) 洪水計算	(C) 洪水防衛施設計画	(D) 地区内区画整理のモデル設計	(E) 土地利用の判別	備考
使用希望標準	縮尺 等高線	1/50,000	1/50,000	1/20,000	1/20,000	1/20,000	1m
作成機関	入手先	JICA	同	同	同	同	
作成目的		JICA JICAが当該案件用に	左	左	左	左	
重要な表示事項		地形, 植生, 河川	地形, 植生, 河川	地形, 河川, 道路	地形, 河川, 道路	地形, 植生, 道路	
重要な精度		道路, 等高線	河川, 等高線	河川, 等高線	道路, 等高線	道路, 等高線	
調査対象範囲(面・線)		1,400 km ²	5,000 km ²	700 km ²	150 km ²	1,400 km ²	①面的 500 km ² ②面的 1,400 km ²
使用地図のスケール		1,400 km ²	1,400 km ²	1,400 km ²	1,400 km ²	1,400 km ²	
ほしかった範囲		1,400 km ²	2,000 km ²	700 km ²	150 km ²	1,400 km ²	
標準範囲		1,400 km ²	2,000 km ²	700 km ²	150 km ²	1,400 km ²	
地域特性		(B.L.) W 57° 30' S 26° 40'	(植生) 湿地	(地形) 平坦地	(人文) 集落のない地域	(地域等) パラグアイ国 アスンシオン南部の低湿地域	
土地利用		利用しなかった	(基図縮尺)	(基図コンター)	(分類)		
参考事項		広域理由 5,000 km ² 植生に流入する河川 川の流域範囲と地目状 況調査の結果による。					

分野 (大分類)		開発計画 (中分類)		地域開発 (小分類)		空中写真 (使用成果)		地図					
使用標準	縮尺	(A) プロジェクト地域の選定	(B) 用・排水路等路線選定	(C) 現場整備計画	(D) 堤防計画	(E) 農地配分計画	摘要						
希望標準	等高線	1/1,000	1/1,000	1/1,000	1/1,000	1/1,000	0.5 m	0.5 m	1/1,000	0.5 m			
作成機関	入手	第三国機関	同	同	同	同	左	左	同	左			
作成目的	目的	JICA 相手国が当該案件用に作成	同	同	同	同	左	左	同	左			
重要な表示事項	項目	地形, 河川, 目標物	同	同	同	同	左	左	同	左			
重要な精度	項目	河川, 等高線	同	同	同	同	左	左	同	左			
調査対象範囲(面・線)		13.8 km ²	13.8 km ²	13.8 km ²	13.8 km ²	13.8 km ²	14 km × 4 km	15 km × 5 km	13.8 km ²	14 km × 4 km	13.8 km ²	14 km × 4 km	①面的 13.8 km ² 線状 14 km × 4 km
使用地図カバ一範囲		36 km ²	36 km ²	36 km ²	36 km ²	36 km ²	15 km × 5 km	15 km × 5 km	36 km ²	15 km × 5 km	36 km ²	15 km × 5 km	
ほしかった範囲標準範囲													
地域特性		(B.L) E 1°~30' N 13°	(植生) 湿地	(地形) 平坦地	(人文) 集落点散地域	(地域等) ニジニールカニアラニア地区							
土地利用図		既存利用	(基図縮尺) 1/1,000	(基図コンター) 0.5 m	(分類) 地形								
参考事項													※ニジニール川洪水を利用した浮橋による農業が主であり, 安定した水の供給が課題。

(FS) (案件) 国名記入 エジプト……北部ホサイニア及びポートサイド南部農業開発計画

分野 (大分類) 建設		開発計画		地域開発		水源		空中写真		地図		概要	
区		分		(A) プロジェクト・バウンダリー の確定		(B) 用排水路の路線選定		(C) 干拓堤防計画		(D) 排水計画		(E) 村落計画	
使用	希望縮尺	1/5,000	0.5m	1/5,000	0.5m	1/5,000	0.5m	1/5,000	0.5m	1/5,000	0.5m	1/5,000	0.5m
標準	等高線												
作成機関	入手先	JICA	JICA	同	左	同	左	同	左	同	左	同	左
作成目的		JICA	JICA	同	左	同	左	同	左	同	左	同	左
重要な表示事項		地形, 植生, 種々の目標物		同	左	同	左	同	左	同	左	同	左
重要な精度		河川, 道路		同	左	同	左	同	左	同	左	同	左
調査対象範囲(面・線)		462 縮尺	28 × 19	462 縮尺	28 × 19	462 縮尺	28 × 19	462 縮尺	28 × 19	462 縮尺	28 × 19	462 縮尺	28 × 19
使用地図カバ一範囲		462 縮尺	28 × 19	462 縮尺	28 × 19	462 縮尺	28 × 19	462 縮尺	28 × 19	462 縮尺	28 × 19	462 縮尺	28 × 19
ほしかった範囲													
標準範囲													
地域特性		(B.L) N 37° E 32°		(植生) 湿地		(地形) 平坦地		(人文) 集落のナシ		(地域等) ナイル・デルタの一部		(面的) ナイル・デルタの一部で、マ イザラレイクの一部を干陸す る(現在は沼地)。	
土地利用図		(基図縮尺)		(基図コンター)		(分類)							
参考事項													

分野 (大分類)		開発計画 (中分類)		地域開発 (小分類)		かんがい (使用成果)		空中写真 (地図)		摘要	
区分	(A) 通地速定	(B) 土壤調査	(C) 水路、道路等の位置ルート速定	(D) 排水不良地調査	(E) 設計 (頭首工水路、通路)						
使用希望標準	1/10,000 5 m	1/10,000 5 m	1/10,000 5 m	1/10,000 5 m	1/10,000 5 m	5 m	1/10,000	5 m	1/10,000	5 m	
作成機関	第三国機関	同	同	同	同	2 m		2 m		1 m	
作成目的	汎用図	同	同	同	同	2 m		2 m		1 m	
重要な表示事項	地形、河川、地名	地形、植生、河川	地形、建物、地名	地形、植生、行政界	地形、河川、地名						
重要な精度	河川、等高線	目標物、等高線	同	河川、水準点などの標高	地形、等高線						
調査対象範囲 (面・線)	218 Km ²	218 Km ²	218 Km ²	218 Km ²	218 Km ²	25 × 12	25 × 12	25 × 12	218 Km ²	25 × 12	① 面的 218 Km ² 線状 25 × 12
使用地図のパーセント	218 Km ²	218 Km ²	218 Km ²	218 Km ²	218 Km ²	25 × 12	25 × 12	25 × 12	218 Km ²	25 × 12	
ほしかった範囲											
標準範囲											
地域特性	(B.L) S 11° W 77°	(植生) 砂漠、新地	(地形) 丘	(人文) 集落点散	(地域等) 南緯 11° であるが						
土地利用図	利用しなかつた既存利用作成	(基図縮尺) 1/20,000	(基図コンター) 5 m	(分類) 植生	アンボルト回流によって気候は熱帯ではない。						
	地区内調査	○ 土壤調査 (調査位置速定)			アンボルト回流によって気候は熱帯ではない。						
参考事項		○ 地下水位等の観測調査 (井戸位置等)			アンボルト回流によって気候は熱帯ではない。						

分野 (大分類) 開発計画 (中分類) 地域開発 (小分類) (使用成果) 空中写真・地図

区分		(A) ルート選定	(B)	(C)	(D)	(E)	摘要
使用	希望縮尺等高線	1/50,000	10 m				
作成機関	入手先	相手国測量機関	第三国機関				
作成目的	汎用図						
重要な表示事項	地形、河川、道路						
重要な精度	道路						
調査対象範囲(面・線)	2,000 km ²						①面的 2,000 km ²
使用地区カバ-範囲							
ほしかった範囲							
標準範囲							
地域特性	(B.L) E 12° 30' ~ 12° 30' N 18° 00' ~ 18° 30'						(地形) 急峻 (植生) 耐林 (人文) 集落点散 (基礎) コンクリ (分類)
土地利用図	利用しなかった						
参考事項	かんがい用ルート選定に 1/5万を用い、その点の微小地形 (土地利用) 把握に 1/4,000 を用いた。						

分野 (大分類)		開発計画 (中分類)		地域開発 (小分類)		かんがい (使用成果)		空中写真 (地図)		備考
区分	(A) 適地選定	(B) ルート選定	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	備考	
使用希望標準	1/5,000	5m	1/5,000	0.5m						
作成機関	J I C A	J I C A	同	左						
作成目的	J I C A	J I C A								
重要な表示事項	地形, 植生, 河川									
重要な精度	等高線									
調査対象範囲(面・線)	198.6 Km ²		198.6 Km ²							① 面的 198.6 Km ² ② 面的 198.6 Km ²
使用地図カバ一範囲	198.6 Km ²									
ほしかった範囲										
標準範囲										
地域特性	(B.L) S 1°30' W 79°30'	(植生) 耕地		地	(地形) 平坦	(人文) 集落	点	数	(地域等) カタラマ川流域	
土地利用	作成	(基準縮尺) 1/5,000			(基準コンター) 0.5 m	(分類) 植		生		
参考事項	頭首工の位置を変更した。 かんがいプロジェクトの場合、境界は道路でなく河川で区切るべきである。	頭首工の位置を変更した。								

分野 (大分類) 開発計画 (中分類) 地城開発 (小分類) かんがい、発電 (使用成果) 空中写真、地図

区分	(A) 適地選定	(B) 土壌図作成	(C) 土地利用判別	(D) 設計	(E) 計	備考
使用希望標準	1/5,000 2.5 m 2 m	1/5,000 2.5 m 2 m	1/5,000 2.5 m 2 m	1/5,000 2.5 m 1 m 1 m	2.5 m 1 m 1 m	
作成機関	J I C A	同	同	同	左	
作成目的	J I C A	同	同	同	左	
重要な表示事項	地形、植生、河川	同	同	地形、河川、道路		
重要な精度	河川、等高線	同	地物、等高線	河川、等高線		
調査対象範囲(面・線)	710 Km ²	900 Km ²	900 Km ²	510 Km ²		①面的 1,200 Km ² ②面的 5,500 Km ²
使用地区の範囲	1,800 Km ²	1,800 Km ²	1,800 Km ²	1,800 Km ²		
ほしかった範囲	1,000 Km ²	1,000 Km ²	1,000 Km ²	1,000 Km ²		
標準範囲	1,500 Km ²	1,000 Km ²	1,000 Km ²	1,000 Km ²		
地域特性	(B.L.) E 103°49'~ 105°25'00" S 5°45'~8°08"	(植生) 水耕田、耕地、樹林	(地形) 丘	(人文) 集落、点、散	(地城等) コメリン川流域	
土地利用図作成	広域調査を必要とした理由	(基本縮尺) 1/5,000	(等高コンター) 2.5 m	(分類) 植生	(S)	120Km ² の天然湖(ラナワ湖)が コメリン川の起点となっている 日本工管とJ.V.
参考事項	面積調査の2~3倍の図化 範囲が必要。	土地利用(現状)図について...植生区域又は森林、水田、 畑地、プランテーション、住宅地、原野等の境界線が殆 どの地形図に記入されていない。 参考意見...航空測量としては植生及び被覆地の地層を正 確に表現する事は難しく、特に1/5,000以上の縮尺図で は重要地域を計画担当と充分協議し範囲をしばり重点的 に地上測量(spot height)を加え精度の高い図面を作成 して欲しい。	理由...水陸交通計画としては 精度不足である。 対策...実測(断面測量)を自 社で行った。			

分野 (大分類)		開発計画 (中分類)		地域開発 (小分類)		かんがい (使用成果)		空中写真 (地形)		地図	
区分	(A) ルート選定, 設計	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)	備考
使用希望標準	1/5,000 2.5 m 1 m 1 m										
作成機関	J I C A 優先										
作成目的	J I C A J I C A J I C Aが当該案件用に										
重要な表示事項	地形, 植生, 道路										
重要な精度	道路, 等高線										
調査対象範囲(面・線)	80 Km ² 25 Km ² 50 Km ² 50 Km ²										①面的 37 Km ² ②面的 80 Km ²
使用地図カバ-範囲	広域調査を必要とした場合の面積と簡単な理由										
ほしかった範囲	理由…かんがい開発の場合は対象とするかんがい地区の約1.5倍程度の面積がほしい(地区の外を取り囲むよう)										
標準範囲	(B.L) E 103°50'~105° S 4°~8°										
地域特性	(植生) 草原, 未耕地, 耕地 (地形) 平地, 丘陵 (人文) 集落, 点散 (基図縮尺) 1/2.5万										南スマトラ州 コロン川上流
土地利用図作成	等高線不十分-かんがい開発は水を取り扱うことから標高が非常に重要である。少なくとも1mコンター。										
参考事項	等高線不十分-かんがい開発は水を取り扱うことから標高が非常に重要である。少なくとも1mコンター。										F/S用の地図は1万分の1 1mコンターがもともといやしい。 しかし, せつかく作成するのであれば, 1/5,000 1m又は0.5mコンターを作成し, 詳細設計時まで使用するの望ましい。 又, 使用時に間に合うように作成されるようお願いしたい。

区分		(A) 現地選定	(B) ルート選定	(C) 設計	(D) 土量計算	(E) 土地利用判別	摘要
使用縮尺	1/5,000	1m	1/5,000	1/5,000	1m	1/5,000	1m
希望縮尺	1/5,000						
標準							
作成機関	先 J I C A J I C A						
作成目的	J I C A						
重要な表示事項	地形, 概生, 河川						
重要な精度	河川, 道路						
調査対象範囲(面・線)	120 km ²						①面的 120 km ²
使用地区カバ-範囲	15 km ²						
ほしかった範囲	30 km ²						
標準範囲	30 km ²						
地域特性	(B.L.) W18° N S°						
土地利用図作成	(概生) 湿地 (地形) 平坦 (人文) 集落点散 (面積等)						
参考事項	広域調査を必要とした理由は、相手国政府の要請による。						

分野 (大分類) 建設 (中分類) 水資源 (小分類) かんがい (使用成果) 空中写真, 地図

区		(A) 現地選定	(B) ルート選定	(C) 散	(D) 土量計算	(E) 摘要
使用	縮尺	1/12,500	1/12,500	1/5,000	1/5,000	
希望	等高線	3.05 m		0.25 m	0.25 m	
標準						
作成機関	入手先	相手国のその他の機関	相手国のその他の機関	J I C A J I C A	J I C A J I C A	
作成目的	汎用図	汎用図	汎用図	J I C A	J I C A	
重要な表示事項	地形	地形	地形	地形	地形	
重要な精度	河川, 水準点などの標高	河川, 水準点などの標高	河川, 水準点などの標高	河川, 水準点などの標高	河川, 水準点などの標高	
調査対象範囲 (面・線)	120 Km ²	120 Km ²	120 Km ²	50 Km ²	50 Km ²	①面的 120 Km ² ②面的 120 Km ²
使用地図カバレッジ	"	"	"	"	"	
ほしかった範囲	"	"	"	120 Km ²	120 Km ²	
標準範囲	"	"	"	"	"	
地域特性	(B.L) W 77° N 18°	(植生) 地	(植生) 地	(地形) 平	(人文) 点 落 点 散	(地質等) ブラックリバー フローモラ
土地利用図	(基図縮尺) 1 / 12,500	(基図縮尺) 1 / 12,500	(基図縮尺) 1 / 12,500	(分類) 人	(分類) 人	
参考事項	広域調査を必要とした理由 相手国政府要請による。			意見...一定プロジェクトのため の地形図作成は, 可能なか ぎり広範囲の面積をカバーし てほしい。		

(F S) (案件) 関名記入 フィリピン川かんがい開発計画

分野 (大分類)		開発計画建設 (中分類)		地域開発水源 (小分類)		ダム, かんがい (使用成果)		空中写真, 地図		摘要	
区分	(A) かんがい施設: ダム等のサイト選定ルート	(B) 農地計画, ダム設計	(C) 土壌分類: 土地利用区分	(D) 工事量: 賦存量等の土量計算	調査位置	図	要				
使用縮尺	1/4,000 1/10,000	1/4,000 及び1/1,000 1/2,000	1/3,000 1/25,000	1/4,000	1/50,000 1/250,000	20 m					
希望標準	1/5,000	1/1,000	1/10,000	1/5,000	1/50,000	20 m					
作成機関	J I C A	J I C A	J I C A	同	同	左					
作成目的	J I C A	J I C A	J I C A	J I C A	同	左					
重要な表示事項	地形, 河川, 道路	地形, 植生, 河川	地形, 植生, 道路	地形, 河川, 道路	地名, 道路, 行政界						
重要な精度	河川, 等高線	河川, 水準点などの標高	道路, 等高線	同	道路, 水準点などの標高						
調査対象範囲(面・線)	170 km ²	170 km ²	170 km ²	170 km ²	700 km ²			①面的 170 km ² ②面的 700 km ²			
使用地図カバ-範囲	170 km ²	170 km ²	170 km ²	170 km ²	20,000 km ²						
ほしかった範囲	200 km ²	170 km ²	200 km ²	10 km ²	20,000 km ²						
標準範囲	200 km ²	170 km ²	200 km ²	10 km ²	20,000 km ²						
地域特性	(B.L.)	(植生) 耕 地	(地形) 平 坦	(人文) 集 落 点 散	(地域等)						
土地利用図		(基図縮尺) 1/8,000	(基図コンター) 1 m	(分類) 植 生 ・ 土 壌							
参考事項	<p>総計 17,000 ha のかんがいプロジェクトであったが, 工事費の大半を占めるのは, ダムであった。</p> <p>その重要なダム設計では 1/1,000 程度の図面が必要であったが, J I C A 供与の図面にはなかった。このため調査図の負担のもとに作成した。このように重要施設設計に際しては, 精度の高い図面の準備が必要と思われる。</p>										

分野 (大分類) 建設 (中分類) 交通、運輸 (小分類) 道路 (使用成果) 空中写真、地、図

区 分		(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	摘 要
使用 希望 縮尺 標	等高線						
作成機関	入手先						
作成 目的							
重要な表示事項							
重要な 精度							
調査対象範囲(面・線)		8 km × 1 km					① 線状 8 km × 1 km
使用地図カバ-範囲		1.865 km ² (モーリシヤス 島全面積)					② 面的 1.865 km ² モーリシヤス 島全面積
標 高 標 範 囲		(B.L.) S 20° E 57°					
地 域 特 性		(植生) 耕 地 (基図縮尺)					
土 地 利 用 図 作 成							
参 考 事 項		本共同受注であるため詳細は 記載していない。	→ 測点に関する詳細は日本政 術開発(国際航業)の回答 参照。				

分野 (大分類) 建設 (中分類) 交通, 運輸 (小分類) 道路 (使用成果) (空中写真, 地図)

区分	(A) ルート選定	(B) ベースマップ	(C) 概略設計	(D)	(E) 概要
使用希望標準	1/25,000 5 m 1/10,000 2 m 1/10,000 ~ 1/5,000 2 m	1/50,000 20 m			
作成機関	相手国測量機関	相手国測量機関			
入手先	同	同			
作成目的	相手国が汎目的で作成	同			
重要な表示事項	地形, 河川, 建物	地形, 道路, 行政界			
重要な精度	地物, 等高線	道路, 等高線, 町レベルの行政界			
調査対象範囲(面・線)	636 Km ²	636 Km ²			① 面的 150 Km ²
使用地図カバレッジ	636 Km ²	636 Km ²			② 面的 636 Km ²
ほしかった範囲	150 Km ²	636 Km ²			
標準範囲	150 Km ²	636 Km ²			
地域特性	(B.L) N 14°70' E 121°	(植生) 草原	(地形) 丘陵	(人文) 都市	(地域等) マトロ, マニラ北部
土地利用図	既存利用	(基礎縮尺) 1/25,000	(基礎コンター) 5 m	(分類) 人文	主にケソン市及びカローガ市
参考事項	1/25万航空写真 モザイク併用	1/25万地図...土地利用計画	1/5,000空中写真モザイクを使用	1/25万及び1/5,000航空写真モザイクは, 本調査で作成したもの。 (写真は1981年撮影, 写真縮尺は1/31,000)	
		1/50万地図...トグラフィックゾーニング等			

分野 (大分類) 建設 (中分類) 交通・運輸 (小分類) 道路 (使用成果) 空中写真, 地図

区分		(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	摘要
使用	縮尺						
希望	等高線						
標準							
作成機関	入手先						
作成	目的						
重要な表示事項							
重要な精度							
調査対象範囲(面・線)							①線状 1,660km×1km ②線状 1,660km×30km
使用地図カバ-範囲							
ほしかった範囲							
標準範囲							
地域特性	(B.L) N 10°~19° E 120°~126°	(植生) 耕地・樹林	(地形) 平坦地, 丘陵, 急峻	(人文) 集落, 散地	(地質等) ルソン島, サマール島, レイテ島		
土地利用図	(基図縮尺)	(基図コンター)	(分類)				
<p>空中写真, 地図何れも使用しない。</p> <p>地形細章(1/400又は1/1,000), 横断細章を実施したため, 地図は使用せず。(工法設計)</p>							
参考事項							

分野 (大分類) 建設 (中分類) 交通・運輸 (小分類) 道路 (使用成果) 空中写真, 地形, 地図

区分	(A) ルート概略計画	(B) ルート選定	(C)	(D)	(E)	摘要
使用縮尺	1/5,000	1/50,000				
希望縮尺	1/2,000	1/10,000				
標準縮尺	1/2,000	1/10,000				
作成機関	J I C A	相手国測量機関	同			
作成目的	J I C A が当該案件用に…	相手国が汎用目的で作成				
重要な表示事項	地形, 河川, 道路	地形, 河川, 道路				
重要な精度	地物	地物				
調査対象範囲(面・線)	55 Km × 2 Km	55 Km × 2 Km				① 線状 55 Km × 2 Km
使用地図カバレッジ	70 Km × 1 Km	55 Km × 1 Km				② 線状 70 Km × 2 Km
ほしかった範囲	55 Km × 1 Km	55 Km × 1 Km				
標準範囲	55 Km × 1 Km	55 Km × 1 Km				
地域特性	(B.L) N 16° E 121°	(原生) 樹林	(地形) 急峻	(人文) 集落点散在	(地域等) フィリピン	
土地利用図	利用しなかった	(基図縮尺)	(基図コンター)	(分類)		

地形地質の検討

※ 詳細・概略設計の段階に移ると 1/1,000, 1/2,500 程度の図面が必要なので, 少なくとも現道沿いの図面は完備されていたらと思います。

参考事項

分野 (大分類) 建設 (中分類) 交通・運輸 (小分類) 道路 (防災) (使用成果) 空中写真 (地 図)

区 分	(A) ルート確認	(B) 設 計	(C)	(D)	図	摘 要
使用縮尺等	1/250,000	1/50,000	20m			
希望縮尺等						
作成機関	相手国測量機関	国	左			
作成目的	相手国が汎用目的で作成					
重要な表示事項	河川, 道路, 地名	地形, 河川, 道路				
重要な精度	道 路	等 高 線				
調査対象範囲(面・線)	148 Km × 0.1 Km	148 Km × 0.1 Km				① 線状 148Km×0.1Km
使用地図カバー範囲	"	"				② 面的 39,000 Km
ほしかった範囲	39,000 Km ²	"				
標準範囲	"	"				
地域特性	(B.L.) N 16°20' E 120°30', N 16°08' E 121°00', N 10°30' E 125°00'	(植生) 樹 林 (地形) 急 峻 (人文) 集 落 点 散 地 域 (地域等)				
土地利用図	利用しなかった	(基図縮尺)				
参 考 事 項	<p>添 6 大日本コンサルタント</p> <p>J.V</p> <p>空中写真による災害危険箇所 の抽出がなされる。</p> <p>④ 変測 (平面線形測量, 縦断線測量及び部分的な横断測量) で補足した。</p>					

分野 (大分類)		建設 (中分類)		交通, 運輸 (小分類)		道路		(使用成果) 空中写真, 地形, 地図		摘要
区分	(A) ルート選定	(B) 概略設計 地形測量 (平面図の補足 単点測量)	(C) インタチェンジェ設計用	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)
使用希望標準	1/25,000 5 m 1/10,000 2.5 m 1/10,000 2.5 m	1/2,500 1 m	1/1,000 1 m							
作成機関	相手国その他の政府機関	J I C A	J I C A	左						
作成目的	汎用図	J I C A	J I C A	左						
重要な表示事項	地形, 河川, 道路	地形, 道路, 建物		左						
重要な精度	道路, 等高線	同	左	左						
調査対象範囲 (面・線)	18 X 8									① 面的 5,300 Km ²
使用地図カバレッジ	18 X 8									
ほしかった範囲										
標準範囲										
地域特性	(B.L.) E 103°50' N 1°30'	(植生) 樹 林	(地形) 丘 陵	(人文) 都市, 集落 点散	(地域等) Johor State					
土地利用図	既存利用	(縮尺) 1/25,000	(縮尺) 1/25,000	(分幅) 人文, 地形						
参考事項	(A) 1 inch = 16 chain (1:12672) の土地区画図と 1:25,000 の地形図により, ルート選定を行う。	(B) 1:2,500 の地形測量 (平面図の補足, 単点測量) J.B 市内は 1 inch = 1 chain (1:792) = 2 (1:1,584) = 4 (1:3,168)	1:1,000 の地形測量							

(FS) (案件) 国名記入 マレーシア……ジョホールバル道路交通計画調査

分野 (大分類) _____ (中分類) _____ (小分類) _____ (使用成果) 空中写真, 地図

区分		(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	摘要
使用	縮尺						
希望	等高線						
標準							
作成機関	入手先						
作成	目的						
重要な表示	事項						
重要な	精度						
調査対象	範囲(面・線)						
使用地図	カバ-範囲						
ほしか	った範囲						
標準	範囲						
地域	特性	(R.L.)	(植生)	(地形)	(人文)	(地域等)	
土地	利用		(基図縮尺)	(分幅)			
当業務は、福山コンサルタントで行っている。 当社も数名技術者が作業したが、現在、長期海外出張中で詳細不明。							
参考	事項						

分野 (大分類) 建設 (中分類) 交通・運輸 (小分類) 道路 (使用成果) 空中写真, 地図

※地形図は同一

区分		(A) ルート選定	(B) 設計	(C) 計	(D)	(E)	摘要
使用	縮尺	1/25,000					
希望	等高線	"					
標準							
作成機関	入手先	JICA					
作成目的		JICAが当該案件用に作成					
重要な表示事項		地形, 河川, 道路					
重要な精度		道路, 等高線					
調査対象範囲(面・線)		250 × 100					① 線状
使用地図カバ-範囲		100 × 100					250km×100km
ほしかった範囲		200 × 200					
標準範囲							
地域特性		(B.L)	(概生) 未耕地 (原野)	(地形) 急峻	(人文) 集落点散地	(地域等) エロソビア, ポコログ	
土地利用図		利用しなかった	(基図縮尺)	(基図コンター)	(分類)		
		1 / 25,000 は全体の半分					
参考事項							

分野 (大分類) 建設 (中分類) 地域開発 (小分類) 道路 (使用成果) 空中写真・地図

区分		(A) ルート選定	(B) 現道改良地点の選定	(C)	(D)	(E)	摘要
使用縮尺	等高級	1/25,000	25 m	1/2,000	2 m		
希望縮尺			10 m				
標準		1/25,000	10 m	1/5,000	2 m		
作成機関	入手先	JICA	同	相手国測量機関	同	左	
作成目的		JICAが当該案件用に…		相手国が当該案件用に作成、その他、世界銀行用に作成済			
重要な表示事項		地形、植生、河川		同	左		
重要な精度		目標物、等高線					
調査対象範囲(面・線)		600 Km ²	600 Km × 1 Km	80 Km ²	80 Km × 1.0 Km		①面的 600 Km ² 線状 600Km×1Km ②面的 10,000 Km ² 線状 600Km×1Km
使用地図カバ-範囲				16 Km ²	80 Km × 0.2 Km		
ほしかった範囲		10,000 Km ²	600 Km × 1 Km	80 Km ²	80 Km × 1.0 Km		
標準範囲							
地域特性		(B.L)		(植生) 湿地, 未耕地	(地形) 平坦, 丘陵	(人文) 集落点散地	(地域等) アンデス中央山脈
土地利用図		利用しなかった		(基図縮尺)	(急峻高地)	(分類)	
参考事項		ルート選定が精度よく出来た とは考え難いがやむを得ない		状地を通る道路であるから、 地形図を基に、地すべりなど の地質的特徴を見れるため広 域的調査が必要だった。			航空写真撮影の上図化するプロジェクトでF/Sの場合には、図化を1フェーズとし、 F/Sは別のフェーズとすることが望ましい。

分野 (大分類) 建設 (中分類) 地域開発 (小分類) 交通、運輸 (小分類) 道路 (使用成果) 空中写真、地形

区分		(A) ルート選定	(B) 概略ルート選定	(C) (D) (E)	備考
使用	縮尺	1/50,000	1/10,000	(A) ルート選定 (1/10,000)	S 1/10,000 は小さ過ぎる。丘陵のジャンダルにあつては、巾 1,000 m となつては路線選定がやり難い。即ち、ルートを選定するのに余りにも線形の振りようがない。
希望	縮尺	30.5 m 10 m			
標	縮尺			(B) 概略ルート選定 (1/50,000)	S 1/50,000 では、等高線間隔は 30 m となつては、地形の小さな動きまでは把握できず、起伏に富んだ地形でありながら平坦に地形がなつてはいる事が多い。
作成機関	入手先	相手国測量院 その他の政 府機関	JICA		
作成目的	目的	相手国が汎用目的で作成	JICA が当該案件用に作成		
重要な表示事項		河川、地形、植生	同		
重要な精度		河川、等高線	左		
調査対象範囲(面・線)		3,000 Km ² 150 Km × 20 Km	140 Km ² 140 Km × 1 Km		① 線状 140 Km × 1 Km
使用地図カバ―範囲		9,000 Km ² 150 Km × 60 Km	"		② 面的 50,000 Km ²
ほしかつた範囲		"	1,400 Km ² 140 Km × 10 Km		
標準範囲		"	700 Km ² 140 Km × 5 Km		
地域特性		(B.L)	(植生) 樹林 (基図縮尺)	(地形) 丘陵 (人文) 集落のない地域 (地域等) サラワク州 (分類)	
土地利用図					
参考事項		地形が急峻な Undulating 地域であるから、縮尺、等高線不十分	巾 1 Km ではせますぎる 5 Km ほしい。 → 10 m 間隔が望しいが、入手は困難である。	地形的制約が多いので、ルート選定は困難であるが、可能性を探る F/S の段階で、1 Km の巾では十分にルート選定の検討が出来ない。	熱帯雨林年間降雨量 5,000 mm ~ 6,000 mm 曇天多く、晴天はほとんどない。

(P.S) (案件) 国名記入 マダガスカル……国道5号線改良計画 (フェノソプーヌモマンツエトラ)

分野 (大分類) 地 開 発 計 画 図 地 域 開 発 地 域 附 発 地 域 交 通 , 運 輸 (中 分 類) 道 路 (小 分 類) 道 路 (使用 成 果) 空 中 孕 真 地 域 (地 図)

区 分		(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	摘 要
使用	縮尺						
希望	等高線						
標準							
作成機限	入手先						
作成	目的						
重要な表示事項							
重要な精度							
調査対象範囲 (面・線)	240 Km						① 面的 240 Km ² 線状 240Km×1 Km
使用地図カバー範囲							
ほしかった範囲							
標準範囲							
地域特性	(P.L.)	(概生)	(地形) 丘 陵	(人文) 集 落 点 散 地 域 (地域等)			
土地利用図		(基礎縮尺)	(基礎コンター)	(分類)			
参考事項	※ 当該プロジェクトは中断されている。マダガスカル政府は、日本政府とは別にD.Cの外部機構にも調査を依頼していた。	地図はすでに1/1,000のものが作成されていた。					

分野 (大分類) 建設 (中分類) 交通, 運輸 (小分類) 道路(橋梁計画を含む) (使用成果) 空中写真, 地図

区分	(A) 逐地速定	(B) ルート選定, 設計概算数 量計算	(C)	(D)	(E)	摘要
使用 希望 縮尺 等高級 標準	1/25,000 15.25 m 20 m	1/2,500 0.305 m 1/2,500				
作成機関	相手国測量隊	同	左			
作成目的	相手国が汎用目的で作成					
重要な表示事項	地形, 道路, 河川	同	左			
重要な精度	道路	等高線				
調査対象範囲(面, 線)	10 Km × 10 Km	7.0 Km × 5.0 Km				① 線状 25 Km × 0.2 Km ② 線状 7.0 Km × 5 Km
使用地図カバー範囲 ほしかった範囲 標準範囲						
地域特性	(B.L)	(植生)	(地形) 丘陵	(人文)	(地域等) アフリカ圏 (インド洋上)	
土地利用図	利用しなかった。	(基図縮尺)	(基図コンター)	(分類)		
参考事項	1/25万, 1/10万, 1/5万, 1/2.5万, 1/1万程度がそろっていて適宜に使い分けられる事が望ましい。	※ いずれもA版程度のシートであるが必要に応じて, 接続して用いる事が出来た。 調査範囲のみでなく, 広く全土をカバーしていたため, まったく問題は悪かった。				

分野 (大分類) 建設 (中分類) 交通, 運輸 (小分類) 道路 (使用成果) 空中写真, 地図

区分		(A) 土地利用判別	(B) ルート選定	(C) 新設道路設計	(D) 街路設計	(E) 交差及び施設計画	摘要
使用縮尺	等高線	1/50,000	1/5,000	1/2,500	1/1,000	1/500	十分
作成機関	入手先	相手国測量機	同	自 社 自 社	同	同	
作成目的		相手国測量機 相手国測量機	左	JICAが当該案件用に…	左	左	
重要な表示事項		相手国が汎用目的で作成	同	同	同	同	
重要な精度		建物, 種々の目標物, 道路	左	同	左	左	
調査対象範囲(面・線)		3,570 Km ²	20 Km × 5.0 Km	20 Km × 1.0 Km	8.6 Km × 0.5 Km	1.5 Km ²	① 線状 29 Km × 0.1 Km
使用地区カバレッジ		"	10 Km × 5.0 Km	"	"	"	② 面的 3,570 Km ²
ほしかった範囲		"	20 Km × 5.0 Km	"	"	"	
標準範囲		"	20 Km × 5.0 Km	"	"	"	
地域特性		(B.L.) W77°~88° N 7&9°	(植生) その他(都市)	(地形) 丘	(人文) 都 市	(地域等) パナマ首都圏	
土地利用図		既存利用	(基礎縮尺) 1/5,000	(基礎コンター) 10 m	(分類) 人 文		
参考事項							

分野 (大分類) 建設 (中分類) 交通・運輸 (小分類) 道路・橋梁 (使用成果) 空中写真・地図

区分		(A) 現地測定・ルート選定	(B) ルート選定の調整	(C) 設計、土量計算	(D)	(E)	摘要
使用		1/4,000	5 m	1/1,000	1 m		
希望	等高線	1/10,000					
標準		1/10,000	5 m				
作成機関	入手先	相手国測量機関	同	J I C A	J I C A		
作成目的		相手国が当該案件に...	左	J I C A が当該案件用に作成			
重要な表示事項		種々の目録物、行政界、道路、河川、地物、目標物、水準点などの標高・等高線	左	同	左		
重要な程度			同	同	左		
調査対象範囲(面・線)		25 Km ²	5 Km × 5 Km	25 Km ²	5 Km × 5 Km		① 線状 5.0Km × 0.1Km
使用地図カバー範囲		"	"	0.5 Km ²	5 Km × 0.1 Km		② 線状 5 Km × 5 Km
ほしかった範囲		"	"	"	"		
標準範囲		"	"	"	"		
地域特性		(B.L) S 3°30' E 40°	(植生) 草原	(地形) 平地	地	(人文) 集落点散	地域 (地域等) アフリカ東海岸
土地利用		既存利用	(基図縮尺) 1/2,500	(基図コンター) 1	m	(分類) 人	文

地形図の入手は、ほとんどの国で、軍事上の都合により早期の入手が非常に困難である。

特に地形図の入手は基本的なものであるため J I C A の事前調査時点で、十分協議の上地形図の有無の確認が重要と思われる。

参考事項

分野 (大分類)		開発計画 (中分類)		都市開発 (小分類)		道路 (使用成果)		空中写真 (地)		図	
区分	(A) 適地	地速定	(B) ルート	速定	(C) 設	計	(D)	(E)	備		要
使用 希望 標準	1/50,000	5 m	1/8,000	2 m	1/500	1 m					
作成機関	相手国測量院	同	同	1~2 m	同	1 m					
作成目的	汎用図	同	同	左	同	左					
重要な表示事項	地形、道路、建物										
重要な精度	地形、道路、建物										
調査対象範囲(面・線)	360 Km ²	20 × 18	2 Km ²	20 × 0.1	0.09 Km ²	0.3 × 0.3					① 面的 360 Km ² 線状 20Km × 18Km
使用地図の範囲	800 Km ²	20 × 40	20 Km ²	20 × 0.1	0.09 Km ²	0.3 × 0.3					② 面的 800 Km ² 線状 20Km × 40Km
ほしかった範囲	800 Km ²	20 × 40	1 Km ²	20 × 0.5	0.09 Km ²	0.3 × 0.3					
標準範囲	800 Km ²	20 × 40	1 Km ²	20 × 0.5	0.09 Km ²	0.3 × 0.5					
地域特性	(P.L.) N 5°30' E 100°20'		(植生) 耕地、樹林	(地形) 平坦、丘陵	(人文) 集落密集都市	(地域等) マレー半島中部ベナン島及びパタワース市周辺					
土地利用図	作成		(基図縮尺) 1/8,000	(基図コンター) 2	(分類) 人	文					
参考事項	概略ルートの選定		確定ルートについては、集落密集地、都市等のあるところでは 1/500 で設計する。								

分野 (大分類)		建設計画 (中分類)		地域開発 (小分類)		空中写真 (使用成果)		地図	
区分	(A) 選測, 橋梁計画関連施設計画	(B) 適地	(C) 土地利用率判別	(D) 河川変動量把握	(E) 道路幹線ルート判別	摘要			
使用希望標準	1/4,000 1/3,000 } 0.5 m	1/25,000 } 1 m	1/50,000 } 1 m	1/100,000 1/143,000	1/1,000,000 1/1,400,000				
作成機関	自 社	相手国測量機	相手国測量機	第三国機関	市	相手国のその他の政府機関			
作成目的	JICAが当該案件用に作成	相手国が汎目的で作成	同 左	同 左	同 左	同 左			
重要な表示事項	地形, 河川, 道路	同 左	同 左	同 左	同 左	河川, 道路, 地名			
重要な精度	道路, 水準点などの標高	河川, 水準点などの標高	河川, 等高線	同 左	同 左	同 左			
調査対象範囲(面・線)	7 km ² 3.5 km × 2.0 km	19.8 km ² 6.6 km × 3.0 km	6.6 km ² 6.6 km × 3.0 km	19.8 km ² 6.6 km × 3.0 km	150 km ² 30 km × 5 km	① 面的			
使用地図カテゴリー範囲	" "	92.4 km ² 8.4 km × 11.0 km	300 km ² 10.0 km × 30.0 km	500 km ² 20.0 km × 25.0 km	57,200 km ² 220 km × 260 km	7 km ²			
ほしかった範囲	" "	" "	" "	" "	" "	② 面的			
標準範囲	" "	" "	" "	" "	" "	14 km ²			
地域特性	(B.L) N 23°40' E 90°35'	(雑生) 耕地	(地形) 平坦地	(人文) 集落点散地	(地域等)				
土地利用図作成	(基図縮尺) 1/3,000	(基図縮尺) 1/3,000	(基図縮尺) 0.5 m	(分類) 地形					
参考事項	橋梁位置, 取付道路ルート計画	河川変動量把握, 堤防がなく増水すると氾濫し, 河道が蛇行変化してゆく経年変化の把握である。	河川変動量把握, 堤防がなく増水すると氾濫し, 河道が蛇行変化してゆく経年変化の把握である。	乾期と雨期に分ける事が出来る。乾期は耕地として利用。雨期は水没又は湿地となる平坦な地形。	ダッカから約40km東南に位置するメグナ, メグナムティ河のへウェリーターミナルの近隣に計画した橋梁計画で比較的に平坦な地形。				

分野 (大分類) 建設 (中分類) 交通, 運輸 (小分類) 道路 陸 (使用成果) (空中写真) 地 図

区分		(A) ベース・マップ	(B)	(C)	(D)	(E)	摘要
使用 希望 標準	縮尺 等級線	1/50,000 1/10,000	50 m				
作成機関	入手先	相手国その他の 政府機関	同				
作成目的	汎用図						
重要な表示事項	地形, 道路, 行政界						
重要な精度	道路						
調査対象範囲(面・線)	道路カバリー 範囲分	8,620 Km ²					① 面的 170,000 Km ²
使用地図カバリー範囲		15,000 Km ²					② 面的 170,000 Km ²
ほしかった範囲		170,000 Km ² (全地域)					
標準範囲		(B.L.)					
地域特性		(概生) 未耕地, 耕地, 樹林 (地形) 平野, 丘陵, 高地 (人文) 都市, 集(密点ない)					(地域等) タイ国北部地方全域
土地利用図	作成, 既存利用	(基図縮尺) 1/100,000 (基図コンター) 50 m					(分類) 耕作地, 未耕作地
参考事項		※ 既設地方道の調査, 改修, 新設道計画等による道路網整備 平地は 1/50,000 ぐらいが, 山間部などは 1/10,000 が望しい。(写真を利用する) 小縮尺 1/100 万などを利用(現地)					

分野 (大分類) 建設 (中分類) 交通, 運輸 (小分類) 道路 (使用成果) 空中写真, 地図, 図

区 分		(A) ルール	(B) 速定	(C)	(D)	(E)	摘 要
使用	縮尺	1/50,000	50 m				
希望	縮尺		10 m				
標準	等高線						
作成機関	入手先	相手国のその他の政府機関					
作成目的	目的	相手国が汎用的に作成					
重要な表示事項		地形, 道路, 行政界					
重要な精度		道 路					
調査対象範囲(面・線)		155 km × 10 km					① 155 km × 10 km
使用地図カバー範囲		155 km × 10 km					② 155 km × 10 km
ほしかった範囲							
標準範囲							
地域特性		(B.L)	(植生) 未 耕 地 (原野)	(地形)	(人文) 集落密集, 点散, (地域等) ない地域		
土地利用図		(基図縮尺) 1 / 100,000	(基図コーナー) 50 m	(分類)	その他 (未耕地, 耕地)		
参考事項							

分野 (大分類) 建設 (中分類) 交通・運輸 (小分類) 道路・橋梁 (使用成果) (空中写真・地図)

区分	(A) 交通計画	(B) 道路、橋梁計画	(C) 同	左	(D) 基本設計	(E) プロジェクト評価	摘要
使用縮尺等 希望縮尺 標準	1/50,000 1/100,000	1/5,000	1/5,000 1/2,500 1/1,500	5 m 2 m 1 m	1/500	1/100,000 1/200,000	
作成機関 入手先	その他の政府機関 同	その他の政府機関 同	その他の政府機関 同	左	その他の政府機関 同	その他の政府機関 同	左
作成目的	相手国が汎用目的に作成	同	その他	その他	その他	相手国が汎用目的で作成	
重要な表示事項	道路、鉄道、行政界	地形、地名、注記	地形、道路、地名	地形、河川、道路	地形、河川、道路	行政界、地名、注記	
重要な精度	道路	道路	等高線	等高線	等高線	その他	
調査対象範囲(面・線)	60,000 Km ²	90 Km × 0.1 Km	90 Km × 0.1 Km	90 Km × 0.1 Km	90 Km × 0.1 Km	60,000 Km ²	① 線状 90km × 0.1km
使用地図カバレッジ	"	"	"	"	"	"	② 面的 60,000 Km ²
ほしかった範囲	"	"	"	"	"	"	
標準範囲	"	"	"	"	"	"	
地域特性	(B.L.)	(植生) 未耕地、耕地、樹林	(地形) 平坦地・丘陵	(人文) 集落点散在	(人文) 集落点散在	(地域等)	
土地利用図	(基図縮尺)	(基図縮尺)	(基図縮尺)	(基図縮尺)	(分類) 人文的、植生による分類(農産物、林産物)		
参考事項	※ 使用した空中写真 : Scale = 1/5,000 1960年英政府依り移管されたもの 地図 : Scale = 1/10,000 を拡大1/5,000として使用(図上計画)						
	1. 支那河川散在 2. 農業振興地域 3. 区間名…マケニ〜カマクイ 4. カマクイ…首都フリータ ウンから約300 Km地点						

(F.S) (案件) 国名記入 リベリア……パソガ・メディココンマ道路計画

分野 (大分類)		計画建設 (中分類)		別発交迎運輸 (小分類)		道路 (使用中果)		地区 (空中写真)		地図	
区分		(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	摘要	
使用希望標準	縮尺										
作成機関	入手先										
作成目的											
重要な表示事項											
重要な精度											
調査対象範囲(面・線)		275 Km × 0.1 Km									① 線状 275 Km × 0.1 Km
使用地図カバ-範囲		110,000 Km ²									② 面的 110,000 Km ²
標 準 範 囲											
地 域 特 性	(B.L.)		(植生) 草原, 湿地, 耕地 (基図縮尺) 1/200,000	(地形) 丘陵, 高地 (基図コンター) なし	(人文) 集落, 点散地, 地域 (分類) 植生 (農産物, 林産物)		(地域等)				
土 地 利 用 図	既存利用										
参 考 事 項	※ 区分, その他, 地図のな い所だったため, 記載して いない。		※ 地図のない地域で既存道路の F/S を実施するというこ とは(写真は入手), 縦横断面測量に非常なエネルギーを要 し, 改良計画の立案に十分な時間がとれなかった。		ウオロギン鉄鉱山に向う 道で鉱山開発の必要度に左右 される道路		首都モンロビアより北へ 200 Km のパンガ地点よりギニ ア国境沿いに平行にシエラレ オーネに向って走る道路				

分野 (大分類) 開発建設 (中分類) 交通、運輸 (小分類) 空港、港湾 (使用成果) 空中写真、地 図

区分	(A) 空港施設、施工計画	(B) 周辺環境、土地利用判別	(C) 適地選定	(D) 空港と地域計画の検討	(E) 空港のネットワーク計画	摘要
使用縮尺希望標準	1/5,000 0.5 m	1/50,000 1 m	1/100,000 50 m	1/710,000以上 ナシ	1/560,000以上 ナシ	
作成機関	自 社	※ 行政機関道路局や農地改良局等で調整された土地利用図は入手困難なため、各々の機関から収集したものを検討し、再編集して調査図を作成した。				
入手先	自 社	相手国のその他、相手国の他の政府機関、他の政府機関				
作成目的	JICAが当該案件用に作成	相手国が汎用目的で作成				
重要な表示事項	地形、河川、道路	地形、道路、種々の目標物				
重要な精度	道路、水準点などの標高	地形、道路、種々の目標物				
調査対象範囲(面・線)	60 Km ² 5.0 Km × 1.2 Km	128 Km ² 1.8 Km × 9 Km	330 Km ² 33 Km × 10 Km	13,300 Km ² 143 Km × 93 Km	4,000,000 Km ² 2,000 Km × 2,000 Km	① 面的 6 Km ² ② 面的 13,300 Km ²
使用地図カバー範囲	"	"	42 Km × 27 Km	200 Km × 130 Km	"	
ほしかかった範囲	10 Km ²	504 Km ² 28 Km × 18 Km	33 Km × 10 Km	143 Km × 93 Km	"	
標準範囲	"	600 Km ² 30 Km × 20 Km	"	"	"	
地域特性	(B.L) N 35°9' W 2°55'	(植生) 耕地	(地形) 平地	(人文) 集落 点散	(地域等) モロッコ国東北地方ナドール市郊外	
土地利用図	既存利用	(基図縮尺) 1/710,000	(基図コンター) ナシ	(分類) 人文	機が地表に散乱しており、一部耕地として利用している。候補地の周辺は最大イリゲンジョンプロジェクトが進行中。	理由
参考事項	空港周辺地域に計画する道路 用廃水施設などの概略設計に 使用する地図とし〜10 Km ² 程度をカバーしたい。	理由 航空機出入方向の降雪物の有 無確認と建設工事のための土砂、石材調達ルートの調査資料として。	理由 航空機の出入方面に対する障 害物の有無を確認する必要が あった。	理由 空港予定位置と周辺地域開発 計画との関連を判断するため	理由 国際線航空路線長の明示	

分野 (大分類) 建設 (中分類) 交通、運輸 (小分類) 道路 (使用成果) 空中写真、地図

区 分		(A) E/S レベルの設計	(B) 改良区の設定のための地図	(C)	(D)	(E)	摘 要
使用	縮尺	1/100,000	1/500,000				
希望	縮尺	1/10,000					
標準	縮尺						
作成機関	入手先	相手国その他の政府機関	第三国機関	同	左		
作成目的	目的	当該案件	その他				
重要な表示事項		地形、河川、道路	河川、道路、地名				
重要な精度		道路、等高線	同	左			
調査対象範囲(面・線)			※ project 地区及びその周辺を相手国が準備した。				
使用地図カバレッジ							
ほしかった範囲		※ 対象地区が広範囲のため					
標準範囲		全土の地図を準備した。					
地域特性		(B.L)	(植生) 樹 林	(地形) 丘 陵	(人文) 集 落 ナ シ	(地域等) スマトラ、カリマンタラ、マラウマツシール地方	
土地利用図		利用しなかった。	(基図縮尺)	(基図コンタクト)	(分類)		
参考事項		スケールが大きすぎ、情報量が少なすぎた。(現地踏査によっておぎなった。)					

分野 (大分類) 建設 (中分類) 交通、運輸 (小分類) 空港 (使用成果) 空中写真、地

区分		(A) マスタープラン作成	(B) 適地選定 (航空線跡章影響)	(C) 土地利用判読	(D)	(E)	摘要
使用	1/5,000	0.5 m	1/50,000	1/20,000			
希望縮尺			1/25,000				
標準	1/5,000		1/50,000	1/10,000			
作成機関	相手国その他の政府機関	同	不明	不明	相手国その他の政府機関		
作成目的	他目的	同	不明	不明	不明		
重要な表示事項	地形、植生、道路		地形、建物、地名	地形、植生、建物			
重要な精度	地物、等高線		同	地物			
調査対象範囲(面・線)							① 1.42 km ²
使用地図カバ-範囲							
ほしかった範囲							
標準範囲							
地域特性	(B.L.)		(植生) 草原	(地形) 平坦	(人文) 集落	ナシ	州 (地域等) スダマララ州
土地利用	既存利用		(基図縮尺) 1/20,000	(基図コンター)	(分類) 植生	(5)	市
備考事項	<p>* F/Sで利用した地図は手書きによるもので、コンターも交差しているなど、おさまったものであり、植生等の区分もされていなかったため、コンターは修正し、又植生等も空中写真(写真自体はあるが図化されていなかった)及び小型機を使用した空中からの視察の際に撮った写真で追加したものである。</p> <p>したがって、このアンケートの「地図」の範囲に入っていないものと思われる。</p>						

区 分		(A) ベースマップ	(B) 地形の判定	(C) 周辺土地利用現況	(D) 設計	(E)	備 考
使用 希望 標準	縮尺 等高線	1/2,500 1 m	1/2,500 1 m	1/2,500 1 m	1/2,500 1 m		
作成機関 入手 目的	その他の政府機関 その他の政府機関 相手国が汎目的で作成		同 左	同 左	同 左		
重要な表示事項	地形, 目標物, 注記		同 左	同 左	同 左		
重要な精度	等高線						
調査対象範囲(面・線)	9 Km ²	9 Km ²	9 Km ²	9 Km ²	9 Km ²		① 9.0 Km ²
使用地図カバレッジ	25 Km ²	25 Km ²	25 Km ²	25 Km ²	25 Km ²		② インドネシア 7 国全体
ほしかった範囲 標準範囲	15 Km ²	15 Km ²	15 Km ²	15 Km ²	15 Km ²		
地域特性	(B.L)	(植生) 草原	(地形) 平地	(人文) 集落点散地	(地域等) インドネシアバリ島 デノンバール既設空港		
土地利用図	既存利用	(基図縮尺) 1/2,500	(基図縮尺) 1/2,500	(基図縮尺) 1 m	(分類) 人文, 植生, 地形		
参考事項	広域対象 インドネシア全域						

分野 (大分類) 建設 (中分類) 交通, 運輸 (小分類) 空港, 港湾, 空港, 港灣 (使用成果) 空中写真, 地図

区分		(A) 空港レイアウト	(B) 障害物調査	(C) 周辺土地利用状況調査	(D) 航空機騒音の影響調査	(E) 航空機運航調査	摘要
使用縮尺	等高線	1/5,000	1/100,000	約 1/33,000	1/25,000	1/500,000	76.25 m
希望縮尺			1/50,000	1/25,000		1/200,000	10 m
標準		1/5,000	1/50,000	1/25,000		1/200,000	
作成機関	入手先	J I C A	相手国測量機関	その他の政府機関	相手国測量機関	第 3 国機関	販
作成目的		J I C A が当該案件用に作成	相手国が汎用目的で作成	他のプロジェクト用	相手国が汎用目的で作成	U S A 作成	
重要な表示事項	地形		地形, 建物, 目標物	地形, 植生, 行政界	地形, 建物, 行政界	地形, 建物, 注記	
重要な精度	等高線		等高線	地物	地物	等高線	
調査対象範囲(面・線)		5 km × 1 km	35 km × 15 km	70 km × 25 km	30 km × 30 km	40 km × 40 km	① 36 km ²
使用地図カバ―範囲		5.3 km × 1.1 km	100 km × 100 km	70 km × 25 km	15 km × 15 km	40 km 以上 × 400 以上	km km ② 100 × 30
ほしかった範囲		5 km × 1 km	50 km × 50 km	70 km × 25 km	30 km × 30 km	40 km × 40 km	
標準範囲		5 km × 1 km	50 km × 50 km	50 km × 50 km	30 km × 30 km	40 km × 40 km	
地域特性		(B.L) N30°30' ~ 31°30' E29°30' ~ 30°30'	(植生) 砂	(地形) 丘	(人文) 集落のない地域	(地域等) エジプト共和国	
土地利用図	既存利用		(基区縮尺) 約 1/33,000	(基区コンター) ナ	(分類) 人	アレキサンドリリア市郊外	
参考事項							

分野 (大分類) 建設 (中分類) 交通, 運輸 (小分類) 道路, 橋梁 (使用成果) 空中写真, 地図

区	分	(A) ルート選定	(B) 設計	(C) 計	(D)	(E)	摘要
使用		1/2,500	1/2,500	5 m			
希望縮尺	等高線	1/1,000	1/1,000	2 m			
標準		1/1,000	1/1,000				
作成機関	入手先	相手国測量機関	同	左			
作成目的		相手国が汎用目的で作成					
重要な表示事項		地形, 道路, 建物	同	左			
重要な精度		道路, 等高線					
調査対象範囲(面・線)		20 Km ²		4 Km × 0.1 Km			① 面的
使用地図カバ-範囲		20 Km ²		4 Km × 0.1 Km			20 Km ²
ほしかった範囲							
標準範囲		20 Km ²		4 Km × 0.1 Km			
地域特性		(B.L.)	(植生) その他(市街地)	(地形) 平地	(人文) 都市	(地域等) 港口部	
土地利用図		既存利用	(基図縮尺) 1/2,500	(基図コンター) 5 m	(分類) 人文		
参考事項		港湾口部 全体道路網との調整	局部的に検討する場合は 1/1,000 程度が必要				

分野 (大分類)		(中分類)		(小分類)		(使用成果) 空中写真, 地図		摘要
区	分	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	
使用 希望 標準	縮尺 等高線							
作成機関	入手先							
作成目的								
重要な表示事項								
重要な精度								
調査対象範囲(面・線)								
使用地図カバー範囲								
ほしかった範囲								
標準範囲								
地域特性	(B.L)	(植生)	(地形)	(人文)	(地域等)			
土地利用図	(縮尺縮尺)	(縮図コンタター)	(分類)					
参考事項	※ 当調査は, 日本工営とJVで行なわれており, 測量は 日本工営で担当されました。 日本工営の答えを御参照願います。							

分野 (大分類) 建設 (中分類) 交通・運輸 (小分類) 道路 (使用成果) (空中写真) (地形) (図)

区分	(A)	(B) ルート選定	(C) 設計(土量計算)	(D)	(E) 交通網図, 土地利用図, 行政界図	摘要
使用希望標準		1/5,000	1/2,000	10 m	1/25,000	
作成機関		相手国その他の政府機関	同	10 m		
入手先		同	左			
作成目的		況用図	同	左	同	左
重要な表示事項		道路, 建物, 種々の目標物	地形, 建物, 高さ			
重要な精度		地物, 水準点などの標高	同	左		
調査対象範囲(面・線)		21 km × 1 km	21 km × 1 km	21 km × 1 km		① 21 km × 1 km
使用地図カバ-範囲		40 km × 5 km	40 km × 5 km	40 km × 5 km		② 650 km ²
ほしかった範囲標準範囲						
地域特性	(B.L) S 6° E 107°	(概生)	(地形) 平坦	(人文) 都市	(地域等) インドネシア	
土地利用図		(基図縮尺) 1/25,000	(基図コンター)	(分類) 人文		
参考事項						

分野 (大分類) 建設 (中分類) 交通, 運輸 (小分類) 道路 (使用成果) (空中写真) (地形) (図)

区分		(A) ルート選定	(B) 設計	(C) 土地利用	(D)	(E)	摘要
使用	縮尺	1/10,000	1/2,500	1/20,000	10 m		
希望	等高線	5 m	1 m				
標準							
作成機関	入手先	相手国測量機関	自 社	相手国測量機関	同		
作成目的	汎用図	同	J I C A	汎用図	同		
重要な表示事項	地形, 道路, 建物		同	同	左		
重要な精度	地物						
調査対象範囲(面・線)	20 km ²		25 × 0.05	50 km ²			① 20 km ²
使用地図カバー範囲	30 km ²		25 × 0.05	60 km ²			25 × 0.05
ほしかった範囲	30 km ²		25 × 0.05	60 km ²			② 50 km ²
標準範囲							
地域特性	(B.L)		(植生) 砂漠, 耕地	(地形) 平坦, 丘陵	(人文) 集落, 点散	(地域等) イルビット市	
土地利用図	利用しなかった		(基図縮尺)	(基図コンター)	(分類)		
参考事項							

(FS) (案件) 署名記入 フイリビシン……マニラ首都圏南部地区幹線道路網計画調査

分野 (大分類) 建設 (中分類) 交通, 運輸 (小分類) 道路 (使用成果) (空中写真, 地図, 図)

区分	(A) 適地選定	(B) ルート選定	(C) 設計	(D)	(E) 土地利用判別	摘要
使用 希望 縮尺 等高線 標準	1/15,000 1/5,000	1/15,000 1/5,000	1/1,000 1/1,000		1/15,000 1/5,000	
作成機関	航空写真					
作成目的	航照					
重要な表示事項						
重要な精度						
調査対象範囲(面・線)						① 3,000 Km ² ② 300 Km ²
使用地図カバレッジ ほしかった範囲 標準範囲						
地域特性	(B.L) N14°24' E121°00'	(植生) 未耕地, 耕地, 樹林, 都市	(地形) 平坦, 丘陵	(人文) 都市, 集落 (密, 点, ナン)	(地域等) マニラ首都圏南部と隣接する Cavite 州北部	
土地利用図		(基図縮尺)	(基図コンター)	(分類)		
参考事項	1/10,000 空中写真併用				3,000 Km ² 対象	

分野 (大分類) 建設 (中分類) 交通、運輸 (小分類) 道路 (使用成果) 空中写真 (図)

区分		(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	摘要
使用	縮尺						
希望	等高線						
標準		1/5,000					
作成機関	入手先						
作成	目的						
重要な表示事項							
重要な精度							
調査対象範囲(面・線)							
使用地図カバ-範囲							
ほしかった範囲							
標準範囲							
地域特性	(B.L.) N14°44' E120°56'		(植生) 混地、都市	(地形) 平坦	(人文) 都市、集落(基点)	(地域等)	
土地利用図	(本図縮尺)		(本図コンター)		(分類)		
参考事項	適地選定、ルート選定、土地 利用判別に空中写真使用		マニラ首都圏全域と北側の Bulacan 県を影響圏として、 調査沿岸路合計 25 km を報告			Valenzuela, Malabon, Navotas, Obando, Meycawayan, Merilao の 6 municipalities Metropolitan Manila 全域及びそれに連なる北 側 Bulacan 県をプロジェ クト影響圏とした。	

分野 (大分類) 建設 (中分類) 交通, 運輸 (小分類) 道路		(使用成果) (空中写真), (地図), (図)					
区	分	(A) ルート選定	(B) ベースマップ(地蔵状況)	(C)	(D)	(E)	摘要
使用 希望 標準	縮尺 等高線	1/5,000	1/100,000				
作成機関	入手先	相手国その他の政府機関	左	自	社	自	社
作成目的	汎用図						
重要な表示事項	河川, 道路, 鉄道, 建物						
重要な精度	道路						
調査対象範囲(面・線)	27.9 Km × 30 m						① 線状 27.9 Km × 30 m
使用地区カバレッジ	3.134 Km ²						② 面的 3.134 Km ²
ほしかった範囲標準範囲							
地域特性	(B.L.)			他	(地形) 平坦	(人文) 都市	(地域等) ノンタブリ島, バンコク市, サムット, プラカラン県
土地利用図	既存利用 作成(自社で複写)			(基図縮尺) 1/200,000	(分画) 人	文	
参考事項							

分野 (大分類) 建設 (中分類) 交通, 運輸 (小分類) 道路 (使用成果) (空中写真, 地図)

区分		(A) ルート選定 (概略設計)	(B) ルート選定 (大枠)	(C)	(D)	(E)	備考
使用		1/10,000	1/50,000	30 m			
希望	縮尺 等高線	1/5,000	1/10,000	2 m			
標準		1/5,000	1/10,000	2 m			
作成機関	入手先	自社	自社	相手国測量機関 他の政府機関			
作成目的		J I C A	汎用図				
重要な表示事項		地形, 河川, 道路	同	左			
重要な精度		等高線					
調査対象範囲 (面・線)		100 × 6		100 × 6			① 面的 600 Km ² 線状 100 Km × 6 Km
使用地図カバ―範囲		100 × 1		100 × 6			② 面的 10,000 Km ² 線状 100 Km × 100 Km
ほしかかった範囲		100 × 6		100 × 6			
標準範囲		100 × 6		100 × 6			
地域特性		(B.L) 線 1:4' E 111° 11' 4"	(植生) 樹	林	(地形) 平坦 丘陵 急峻 高地	(人文) 集落 (点, なし)	(地域等)
土地利用図		利用しなかつた	(縮尺) 縮尺		(基図) コントア	(分類)	
参考事項		route 計画のため, 周辺の情報 が欲しい。	同	左			

分野 (大分類) 建設 (中分類) 交通、運輸 (小分類) 道路		空中写真 (使用成果) 地形図				
区分	(A) 現地選定	(B) ルート選定	(C) 設計	(D)	(E)	摘要
使用 希望 縮尺 等 標準	1/6,000	1/50,000	1/10,000	10 m		
作成機関	相手国測量機関	同	J I C A	J I C A		
作成目的	汎用図	左	J I C A	J I C A		
重要な表示事項	植生、河川、道路	地形、地名、河川	地形、河川、道路	地形、河川、道路		
重要な精度		道路、等高線	同	左		
調査対象範囲(面・線)	237 Km × 50 Km		140 Km ²	140 × 1		① 線状 237Km × 50Km
使用地区カバ-範囲 ほしかった範囲			140 Km ²	140 × 1		② 線状 237Km × 180Km
標準範囲			350 Km ²	140 × 2.5		
地域特性	(B.L)	(植生) 樹 林	(地形) 丘	段	(人文) 集 落 な し (地域等) マレーシア・サバ州	
土地利用図	利用しなかった	(基図縮尺)	(基図コンタ-)		(分類)	
参考事項	航空写真 空中写真 S = 1 / 6,000	S = 1 / 50,000 地形図	S = 1 / 10,000 地形			※ 当初市 1 Km で充分と思われたが、概略設計時に不足する部分が出て来て、広範囲な地形図がほしかった。 (予算上の制約)

分野 (大分類) _____ (中分類) _____ (小分類) _____ (使用成果) 空中写真, 地図

区 分		(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	摘 要
使用 希望 標準	縮尺 等高線						
作成機関	入手先						
作 成 目 的							
重要な表示事項							
重要な精度							
調査対象範囲(面・線)							
使用地図カペー範囲							
ほしかった範囲							
標準範囲							
地域特性	(B.L)	(植生)	(地形)	(人文)	(地域等)		
土地利用図	(基図縮尺)	(基図コンター)	(分類)				
参 考 事 項	本プロジェクトはJICAよりJARTSが受注し、当社はその中で経費担当を行なった ものですので、当実地調査はJARTSよりのものをご参照願います。 Ⅵ 186						

(F.S) (案件) 国名記入 タイ.....チャオピア河架橋(タイ国ラマV世橋建設計画調査)

分野 (大分類) 建設 開発計画 (中分類) 都市開発 交通、運輸 (小分類) 道路、橋梁 (使用成果) (空中写真) (地図)

区分	(A) 架橋地点の選定		(B) ルート選定		(C) 設計		(D) 数量計算		(E) 土地利用判別		摘要
	相手国測量機関 相手国が汎用目的で作成	10m 1/50,000	相手国測量機関 相手国が当該案件用で作成	1/6,600 1/2,500 1/2,500	2m 1m 2m	1/1,000 1/500 1/500	1m 1m 1m	1/1,000 1/500 1/500	1m 1m 1m	1/1,000 1/500 1/500	
作成機関	相手国測量機関	その他の政府機関	相手国測量機関	その他の政府機関	自	自	自	自	自	自	
作成目的	相手国が汎用目的で作成	相手国が汎用目的で作成	相手国が当該案件用で作成	相手国が当該案件用で作成	JICAが当該案件用で作成	JICAが当該案件用で作成	JICAが当該案件用で作成	JICAが当該案件用で作成	JICAが当該案件用で作成	JICAが当該案件用で作成	
重要な表示事項	河川、道路、鉄道	河川、道路、鉄道	河川、道路、鉄道	河川、道路、鉄道	河川、道路、鉄道	河川、道路、鉄道	河川、道路、鉄道	河川、道路、鉄道	河川、道路、鉄道	河川、道路、鉄道	
重要な精度	道路、河川、目録物	道路、河川、目録物	道路、河川、目録物	道路、河川、目録物	道路、河川、目録物	道路、河川、目録物	道路、河川、目録物	道路、河川、目録物	道路、河川、目録物	道路、河川、目録物	
調査対象範囲(面・線)	3,200 Km ²	1.8 Km × 0.1 Km	3,200 Km ²	1.8 Km × 0.1 Km	1.8 Km × 0.1 Km	1.8 Km × 0.1 Km	1.8 Km × 0.1 Km	1.8 Km × 0.1 Km	1.8 Km × 0.1 Km	1.8 Km × 0.1 Km	① 1.8 × 0.1
使用地図カバ-範囲	2,940 Km ²	2.5 Km × 0.2 Km	2,940 Km ²	2.5 Km × 0.2 Km	2.5 Km × 0.2 Km	2.5 Km × 0.2 Km	2.5 Km × 0.2 Km	2.5 Km × 0.2 Km	2.5 Km × 0.2 Km	2.5 Km × 0.2 Km	② 3,200 Km ²
ほしかった範囲	3,200 Km ²	2.5 Km × 0.2 Km	3,200 Km ²	2.5 Km × 0.2 Km	2.5 Km × 0.2 Km	2.5 Km × 0.2 Km	2.5 Km × 0.2 Km	2.5 Km × 0.2 Km	2.5 Km × 0.2 Km	2.5 Km × 0.2 Km	
標準範囲	3,200 Km ²	2.5 Km × 0.2 Km	3,200 Km ²	2.5 Km × 0.2 Km	2.5 Km × 0.2 Km	2.5 Km × 0.2 Km	2.5 Km × 0.2 Km	2.5 Km × 0.2 Km	2.5 Km × 0.2 Km	2.5 Km × 0.2 Km	
地域特性	(B.L.)	(植生) その他	(植生) その他	(植生) その他	(地形) 平地	(地形) 平地	(地形) 平地	(地形) 平地	(地形) 平地	(地形) 平地	
土地利用図	作成	(基図縮尺) 1/1,000	(基図縮尺) 1/1,000	(基図縮尺) 1/1,000	(基図縮尺) 1/1,000	(基図縮尺) 1/1,000	(基図縮尺) 1/1,000	(基図縮尺) 1/1,000	(基図縮尺) 1/1,000	(基図縮尺) 1/1,000	
参考事項											道路に沿った建物が切れ目なく続く市街地で、火力発電所、各種中規模工場、寺院、学校、住宅、商業店舗が混在して居り、更に、本ルートと並行してタイ国鉄南幹線が盛土橋造で走っている。

分野 (大分類)		開発計画建設 (中分類)		地域開発 (小分類)		道路, 橋梁		空中写真, 地図		要			
区		航空写真		航空写真(コンタム入り)		実測(縦・横断面量, 地形)		実測(縦・横断面量)		航空写真		要	
使用	縮尺	1/1万	5.0m 2.5m 十分	1/1万	5.0m 2.5m 十分	1/5,000 1/400 十分	1/200 十分	1/1万	5.0m 2.5m 十分				
希望	縮尺	十分	十分	十分	十分	十分	十分	十分	十分				
標準	縮尺	十分	十分	十分	十分	十分	十分	十分	十分				
作成機関	入手先	相手国測量機関	相手国のその他の政府機関	自	ベン・ロケットン(アボットモザイク)による	自	社	自	社	相手国測量機関	相手国のその他の政府機関		
作成目的	目的	相手国が当該案件用に	相手国が当該案件用に	左						相手国が当該案件用に			
重要な表示事項	表示事項												
重要な精度	精度												
調査対象範囲(面・線)	範囲	50 × 35 1,750 Km ²	31 Km × 0.55 Km	50 × 35 1,750 Km ²	31 × 0.55	31 × 0.55	31 × 0.55	50 × 35 1,750 Km ²	31 × 0.55	31 × 0.55	50 × 35 1,750 Km ²	① 31.1 × 70 ② 55 × 35	
使用地図カバール範囲	範囲												
はっきりした範囲	範囲												
標準範囲	範囲												
地域特性	特性	(B.L.) N5°55' ~ 9°50' E79°42' ~ 81°22'	(植生) 湿地, 未耕地, 樹林	(地形) 平坦, 丘陵	(人文) 都市, 集落点散	(地形) 平坦, 丘陵	(人文) 都市, 集落点散	(地域等)	(地域等)	(地域等)	(地域等)		
土地利用図作成	作成		(基図縮尺) 1 / 63,360	(基図縮尺) 1 / 63,360									
参考事項	事項												

分野 (大分類) 開発計画 (中分類) 地域開発 (小分類)		(使用成果) (空中写真) (地形) (地) (図)				
区分	(A) 土地利用判別	(B)	(C)	(D)	(E)	摘要
使用希望縮尺等高級標準	なし 20 m 20 m					
作成機関	相手国のその他の政府機関					
作成目的	相手国が汎用目的で作成					
重要な表示事項	行政界、道路、地名					
重要な精度	道路					
調査対象範囲(面・線)	171,950 km ²					① 171,950km ²
使用地図カバ―範囲	171,950 km ²					② 171,950km ²
ほしかった範囲	171,950 km ²					
標準範囲	171,950 km ²					
地域特性	(B.L) S 6°00' N 3°00' E 102°00' ~ 123°00'	(植生) 草原, 湿地, 耕地, 樹林	(地形) 平坦地, 丘陵	(人文) 集落点散地	(地域等) カリマンタン島スマトラ, スラバヤ島	
土地利用図	既存利用	(基図縮尺) 1/50,000	(基図コンター) なし	(分類) 人文 (耕地)		
参考事項	地方道路整備に必要とする道路網と農耕地および産業との関連	縮尺不十分 理由…行政界が村単位で必要であった。 対策…行政界を現地で行政担当官に記入してもらった。	等高線間隔不十分 理由…高差別に耕地面積を 知りたかった。 対策…県の手持ち資料によった。			

分野 (大分類) 建設 (中分類) 交通, 運輸 (小分類) 鉄道 (使用成果) 空中写真, 地形図

区分		(A) ルート選定	(B) 平面線形検討	(C) 縦断線形検討	(D) 橋梁検討	(E) 備考
使用	縮尺	1/50,000	1/1,000	たて 1/100 よこ 1/5,000	1/100	
等高線		25 m				
作成機関	入手先	相手国のその他 の政府機関	同	同	同	
目的	その他	相手国のその他 の政府機関	左	左	左	
重要な表示事項	道路, 鉄道, 建物		同	河川, 道路, 鉄道	同	
重要な精度	道路		同		同	
調査対象範囲(面・線)	1,600 Km ²		74.2 Km × 0.2 Km	74.2 Km		① 74.2 × 0.2
使用地図カバ-範囲	1,600 Km ²		74.2 Km × 0.2 Km	74.2 Km		② 98.1 × 1
ほしかった範囲						
標準範囲						
地域特性	(B.L)		(植生) 樹	(地形) 平地	(人文) 都市	(地域等) シンガポール市
土地利用図	利用しなかった		(基図縮尺)	(基図コンタ-)	(分類)	
参考事項	○ 鉄道担当であったので, 地形図のほかは国鉄の線路平面図, 縦断図, 橋りょう一覧図等を使用。					

分野 (大分類)		開発計画 (中分類)		都市開発 (小分類)		道路、公共交通路線計画 (使用成果)		空中写真、地図		摘要
区分	分	(A) 計画地区の建築物、都市施設判別ベースマップ	(B) マニラ首都圏全域の土地利用判別	(C) マニラ首都圏全域のベースマップ	(D) マニラ首都圏について	(E) 空中写真	(F) 地図			
使用希望標準	縮尺等	1/25,000 1/2,500~ 1/5,000	不明 1/10,000 1/10,000	不明 2m	不明 1/25,000	不明 5m	不明	マニラ首都圏については過去、現在種々の都市開発に関する調査が行われているが、何れも信頼出来るベースマップが土地利用現況地形図等がなく大変苦労させられた。		
作成機関	入手先		相手国のその他の政府機関	同	相手国のその他の政府機関	同	左	1985年 JICA プロジェクトで地形図、土地利用図作成が行われるがこれにあたってどんな地図作成が最も良いか充分議論を行ってほしい。		
重要な表示事項	目的	地形、道路、建物	地形、道路、河川	道路	地形、道路、行政界	道路	路			
重要な程度	地物									
調査対象範囲(面・線)			630 km ²		1,000 km ²					
使用地図カバー範囲			"		630 km ²					
ほしかかった範囲			"		1,000 km ²					
標準範囲			"		1,000 ~ 1,500 km ²					
地域特性		(B.L) E 121° N 14.5°	(植生)		(地形) 平地	地	市	(人文) 都市		(地域等) フィリピン国の首都 4市13行政区
土地利用図		既存利用	(基図縮尺) 1/10,000		(基図コンター) 不明			(分類) 人		
参考事項			土地利用指標の計測		道路、交通網と地勢、土地利用			マニラ首都圏周辺の都市化が進行している地域又は予想される地域も加えておくことが望ましい。		

分野 (大分類) 建設 (中分類) 交通、運輸 (小分類) 鉄道 (使用成果) (空中写真) (地図) (図)

区分		(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	摘要
使用	縮尺		1 / 5,000 ナ	1 / 5,000 ナ	シ		
希望	標準						
作成機関	入手先		相手国測量機関	同	左		
作成目的			相手国が汎用目的で作成				
重要な表示事項			道路、鉄道、建物	同	左		
重要な精度			道路、地物				
調査対象範囲(面・線)			45 Km × 0.01 Km	0.7 Km ²			①面の 0.7 Km ² 線状 45 Km × 0.01 Km
使用地図カバ-範囲			20 Km				
ほしかった範囲			45 Km × 0.01 Km	0.7 Km ²			
標準範囲							
地域特性	(B, L)		(植生)	(地形) 丘陵	(人文) 都市・集落点散	(地域等)	
土地利用	既帯利用		(市街図) 1 / 50,000	(市街図) 1 / 50,000	(分類) 人文		
参考事項			(市街図) 地形図 十分ではなかったが、役に立った。 (2) 対策 踏査と線路略図で補った。	同 左 十分ではなかったが、役に立った。 (2) 対策 踏査で補った。 主要部分は、別途プロジェクト内で 1 / 500 図面化を行った。			

分野 (大分類) 建設 (中分類) 交通・運輸 (小分類) 鉄道 (使用成果) (空中写真) (地)

(トンネル, 鉄橋線形等) (土量計算等所算概算出) (社会環境調査・農地宗教建築物の現況)

区分	(A) 適地選定	(B) ルート選定	(C) 設計	(D) 土量計算	(E) 土地利用判別	摘要
使用希望縮尺等路線	1/63,000 15.25 m	1/10,000 5 m	1/10,000 5 m	1/10,000 5 m	1/6,300 不	
作成機関	相手国測量機関	JICA, 相手国	同	同	相手国測量機関; 相手国, 市販	
作成目的	相手国が汎用目的で作成	相手国が当該案件用に..... JICAが当該案件用に.....	左	左	相手国が汎用目的で作成	
重要な表示事項	地形, 河川, 鉄道	同	左	同	地形, 道路, 地名	
重要な精度	等高線	同	同	同	地物	
調査対象範囲(面・線)	代案を校討したため50km中必要	代案がある場合それぞれに2km巾必要	1,300 km × 20 km	1,300 km × 2 km		
使用地図カバレッジ	130 km × 20 km	"	"	1,300 km × 5 km		
ほしかった範囲	"	"	"	1,300 km × 5 km		
標準範囲	"	"	"	1,300 km × 5 km		
地域特性	(B.L.)	(植生)	(地形)	(人文)	(地域等) マレーシア半島部全域	
土地利用図	既存利用	(基図縮尺) 1/500,000	(基図コーナー) ナン	(分類) 植生		
地形	1/63,360 地形図	地形図 { 1/10,000 1/25,000	地形図 { 1/10,000 1/25,000	1/63,360 地形図	地形図 1/63,360	地形図 1/63,360 ※ 20年前に作成した地区の表示はほぼ十分
参考事項	1/500,000 地質平面図 { 1/1,000,000 1/10,000 都市図	都市図, 地質図, 土地利用図等を参考にルートを選定する。	1/63,360 地形図			